

堰堤の破壊

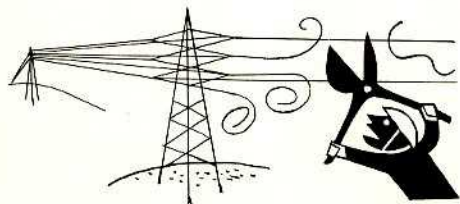
敵は、攻撃に際して、ダムや堤防を爆破する可能性がある。この爆破は、通常、低空を飛ぶ飛行機から投下する爆弾や魚雷、ロケット、あるいは敵の協力者が仕掛ける爆薬によって行なわれるが、その結果生ずる災害は、はかり知れないものがある。

ダムのある谷全体およびその他の地域は洪水に見舞われて、瓦礫の山と化し、もし防災措置を講じなかったら、何十万という人間が死傷する。

耕地も荒廃し、長期間にわたって不毛の地と化すだろう。重要な工業施設、道路、鉄道は破壊され、何年間も使用不可能になる。軍隊は、泥濘と瓦礫の山の中で行動不能となり、飛行場も弾薬庫も使えなくなる。敵は、まさに、そのような打撃によって、数時間のうちにわが国民の抵抗力を粉碎できることを期待しているのである。

他方、このような災害の発生は、わが国に侵入せんとする敵自身に対しても大きな不便不利益をもたらすので、このような攻撃方法をとることは差し控える可能性もある。

しかし、われわれは、このような攻撃を受けることがあり得るということを、常に頭に置いて、それによって起こる災害をはっきりと認識した上で対策を講ずべきである。

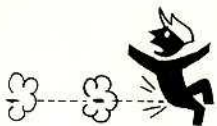


平時につくられた洪水に関する予測地図によって、われわれは、予想される洪水の継続時間と地域的広さについて、一応の見通しを立てることができ、これに基づいて防護措置を講ずることができる。

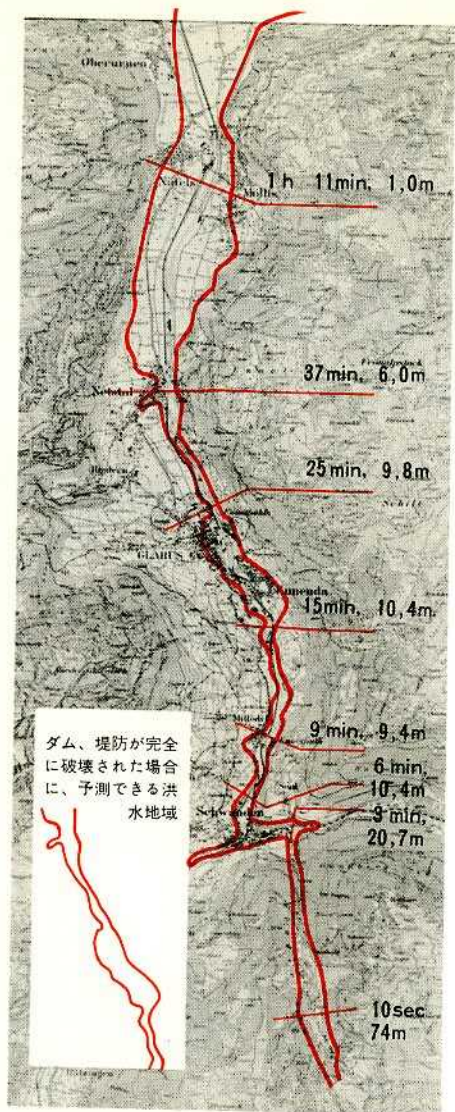
戦時にも安全なダム
の建造方法



警戒



防空



ダムの破壊による洪水を防ぐためには、これだけでは充分ではない。最も効果的な方法は、貯水池や湖の水位を、タイミングよく低めることである。連邦内閣は、危険が迫ったときには、このような指令を発することができる。しかし、ダムや湖からの水の放出は、通常、長時間を要するので、この措置はできるだけ早く始めなければならないという問題点がある。また、これはエネルギーの供給に重大な影響を与える。このような事態においては、外国からの石油や石炭の輸入も不可能と見なければならぬから、なかなか簡単には実行できない問題である。

それでも、われわれは持ちこたえなければならない。平時に、われわれが個人生活に欠くことのできない目的のほかに使っているエネルギーは、エネルギー全体の約半分に達する。それは、自動車運転、慰安旅行、ネオンサイン、不必要な部屋の照明や暖房などに使われている。また、工場は、生活必需品以外の物資を大量に生産している。したがって、緊急のときには、より少ないエネルギーでやっていけるし、木、泥炭、松かさなども、エネルギー源として使える。石油や石炭は長期間貯蔵できる。

われわれは、緊急時には、ダムの水位を低下させて洪水に備えなければならない。それによって生ずるエネルギー供給の不足は、がまんしなければならない。これは、困難ではあるが、たえられぬことではない。数百万キロワットの電力の損害と、ダムの破壊によって生ずる何千人の人命の損失とを、引きかえにするわけにはいかない。

飛行機に対する防空網



爆雷および魚雷に対する網





戦時経済上の理由から、大幅な水位の低下ができないときには、民間防災組織は、老人や子供、病人、不具者などを、危険地域から避難させるとともに、代用品のない食料や作物を安全な場所に確保する。

警報センターは、洪水地域全体に対して、その警報区の電話回線を通じて、防水警報を発する。この際、洪水地域全体における洪水発生時間を知らせる。現地の防災組織は、他の地域にも適当な手段で通報する。

警報と洪水発生時間との間には、場合によっては数分間しかないということもある。この場合には、旅行カバンやリュックサックに物を詰めている時間がない。したがって、危険地域の居住者は、名前と住所を書いた緊急事態用の袋を常に用意しておかねばならない。衣類や食料品の予備を、危険地帯の外に住む親戚や知人の家に預けておくのもよい。どの地域が安全かということは、民間防災組織が教えてくれる。

緊急事態用の袋には、常に、次に記すものを入れて手元に置いておく。

防寒防雨用衣類、下着、靴下、ストッキング、帽子、えり巻き、手袋(放射線よけ)、ハンカチ、靴、スリッパ、毛布、寝袋、洗面用具、トイレット・ペーパー、ガスマスク、防護メガネ、普通の眼鏡をかけている人は予備の眼鏡、懐中電灯と予備電池、裁縫用具、薬品、各種のヒモ、靴ヒモ、安全ピン、ろうそく、マッチ、食食用容器、軍隊用飯ごう、又はキャンプ用飯ごう、水筒、ナイフ、食食用ナイフ、フォーク、スプーン、乾電池ラジオと予備乾電池、プラスチックの布、2日分の食料。

(以下の品は、ホコリやガスが入らないように密封すること)

長持ちする食料品：
たとえば乾パンやラスク
罐入りスープ、チーズ、魚の干物、肉および魚の罐詰、チョコレート、砂糖、茶、インスタント・コーヒー、干し果物、粉ミルク、コンデンス・ミルク。

手さげカバンには次のものを入れておく：

身分証明書、
A H V 証明書、
配給カード、
保険証書、
健康保険証書、
職業証明書、
現金および有価証券、
民間防衛の本(本書)
子供のための赤十字の認識票
(本書304ページ参照)





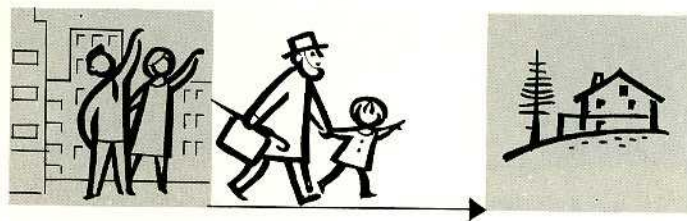
被災者を救助するためには、
決断力のある行動が必要である

もし、スイスが戦争に巻き込まれるとすれば、わが国土の大部分は初日から戦場になるだろう。そこには〈戦線〉もなく、〈銃後〉もない。全国の都市、村、工場施設は爆破され、敵は至る所に出現する。戦車部隊はあらゆる戦線を突破し、落下傘部隊は随所に降下し、あちこちに裏切者が現われるだろう。

要するに、今日の戦闘行動のテンポの速さ、空間的な広がりから見て、すべての国境で敵を阻止することは不可能である。敵を阻止するためには、敵の攻撃のショックをだんだん弾力的に吸収できるような、深い防衛線を設ける必要があるが、事情によっては国境で阻止することはできず、国内で初めて阻止できる場合もあろう。戦闘行動は100キロ以上にわたって一進一退の状態が続くこともあるだろう。

戦時においては、国民は、原則として戦闘地域から脱出することはできない。わが国土はあまりにも小さく、また、どこへ逃げていいかわからないのである。アルプス地域は、そう多くの避難民を受け入れるわけにいかない。

われわれは家の中にとどまり、特に核戦争の場合には避難所に入るのが、最も安全な方法である。戦争の際に家から飛び出すのは自殺行為にひとしい。自分の家より安全な避難所はなく、家も食料もないのである。



状況によっては、女性、5歳以下の子供、学童、老人、病人、不具者は、危険度の小さい地域に避難できるように当局は努力することになるだろう。われわれが正常な生活を続けていくのに必要な民間人は、当局の規則によると、その位置にとどまるべきであるということになっている。

大都市においては、もし、その市内で戦闘行動が行なわれる場合には、その住民を一時的に郊外に避難させるための措置を、予防的に講ずる必要がある。いわゆる疎開であるが、われわれは、その際、本来の疎開の概念を捨て去るべきである。空襲またはその他の戦闘行動の後には、多くの被災者が出るが、彼らを救助するのは困難な仕事である。ただ同情だけでは問題は片づかないのであって、まず組織を回復し、秩序を立て直す必要がある。これらの被災者は、多くは恐ろしい経験に出会った直後なので、気持が転倒しており、彼らが平常の状態にあるときと同様に扱うことはできない。

だから、彼らを救助するためには、まず、秩序を立て直さなければならない。彼らに宿舎と食事を提供し、あとで家族を発見して一緒にしてやるために、その身分に関する事項を聞いておく。また、伝染病の発生を防ぐ措置を講ずるとか、紛失した書類、食料の切符なども新しく発給してやることも必要である。これらは、すべて混乱と破壊の中で行なわなければならないので、その仕事をする人々は、組織能力や明敏な頭脳を持たねばならない。

すべての市町村長の下に、被災者救助に当たる係りがいるが、平時において、家庭だけでなく職場においても人の世話をする任務を持っている女性も、これらの仕事をするのに適している。

各市町村には、被災者のための通報情報機関があって、ここで、被災者の緊急住居、収容所のベッド数、収容人員などに関する管理が行なわれ、被災者は各収容所に割り当てられる。中央通報情報機関は、さらに、被災者の健康状態その他についても必要な情報を提供する。

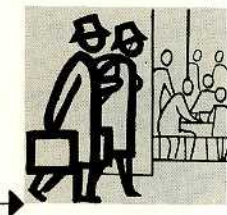
被災者は各収容所に割り当てられる。



被災者は、最も適当な道を通して最寄りの収容所に送られる。

収容所は、通常、1つの都市に1つまたは数カ所、都市部の損害が広がってもそこまで及ばないような、危険の少ない所に設けられる。数百人の被災者が、一時的に、被災者救助部隊によってここに収容される。

収容所は、全財産を失った人に対して最初に世話をする場所であって、被災者は、親戚か知人に引き取られるか、他に宿舎を見つけるまで、ここに滞在する。



衛生班員は、病人や軽傷者の看護に当たる。被災者の中でも、適格者は民間防災の補充隊員として召集される。

収容所に入った被災者が、収容後数日中に、親戚や知人の家、緊急住居、ホテルなどに宿舎を見つけられない場合には、国防軍の救助部隊が彼らを引き取って、救援キャンプに収容するが、被災者は、ここでは正常な日常生活に戻ることになる。

災害が起こったときには、民間防災組織の幹部は、当面の状況を判断して、とるべき措置を指示する。市町村警察や予備警察は、秩序維持に当たり、略奪者などを取り締まる。

軍の救援キャンプでは、数百人の被災者が家族生活を送ることができ、期間には制限がない。



この救援キャンプは、本来、外国人の避難民のために設けられたものであるが、被災者のため、軍は、訓練を受けた人員をここに配置する。



火事は初期のうちに消しとめなければならない

第二次大戦で破壊されたもののうち75%は、火災によるものと言われて
いる。将来の戦争においては原子爆弾による被害が大きいであろうが、原
爆の爆発によって生ずる熱線は、周囲何キロにもわたって、可燃性の物質
を一瞬のうちに発火させるだろうし、強い風圧によって、ストーブやコン
ロは倒れ、ガス管の破裂、電気のショートが起こり、これによる火災も数
多く起こるものと見なければならぬ。

消火作業においては、最初の数分間が勝負である。小さな火災は、手早
く消火に取りかかれば大事に至らずに消しとめることができるが、手おく
れになると大火災を引き起こし火事による強風がこれに輪をかけて、全市
街を灰燼に帰せしめるに至る。同時多発の小さな火災は、なおさら警戒し
なければならない。

したがって、初期の消火作業は、住宅自警団および職場自警団にとって、
最も重要な任務である。家庭での消火法は、まず何よりもバケツで水をか
けること、または小型消火器で放水することで、これは、落ちついてやれ
ば案外効果がある。燃焼性合金爆弾による火災や燐の燃焼によるものに対
しては、多くは砂をかける。携帯消火器、つまり化学薬品の粉末などの入
ったものも効果はあるが、すぐに使い果たすし、緊急の場合、なかなか補
充できないことを頭に置いておく必要がある。

人命救助は消火作業よりも急を要する。火に包まれた者をまず救い出し
た後、消火作業に取りかかる。

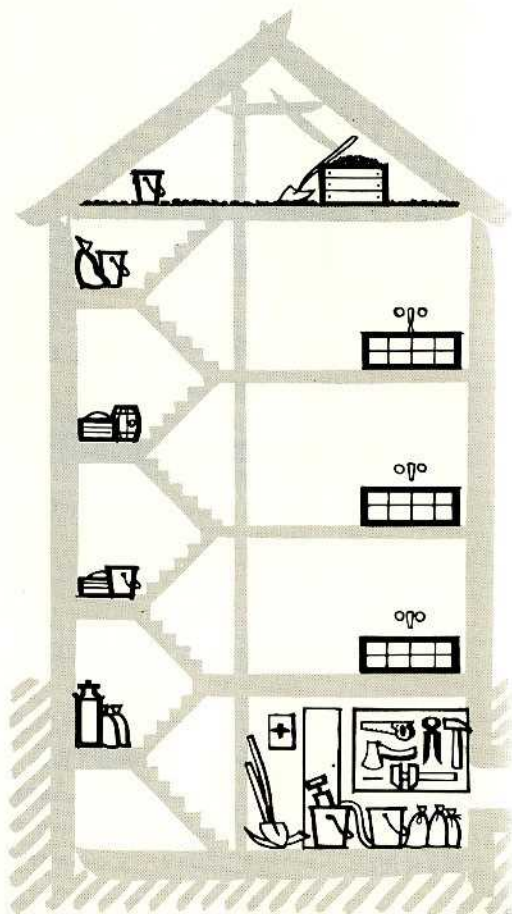
住宅自警団が自分たちだけで消火できない時は区画自警団長に救助を求
めるが、この救助は戦時消防班が担当する。各市町村長は、隣接の組織に
支援を求めることもできるし、対空防災隊が配置されている所では、必要
に応じて、その隊から部隊を派遣してもらうこともできる。しかし、すべ
ての救援もむなしく大火災に至るおそれがあったら、住民は危険地帯から
立ち退かなければならない。

消火の心得

屋根裏にある部屋のガラクタを片づけ、床の上に砂をまく。砂の厚さは5センチくらい。

各階および地下室には、20平方メートル当たり5キロの砂を用意するとともに、できるだけ多量の水（少なくとも1平方メートル当たり1リットル）を、風呂桶、樽などに入れておく。

バケツ、鍋、工具、救急用品、非常用食料などは、避難所に用意する。

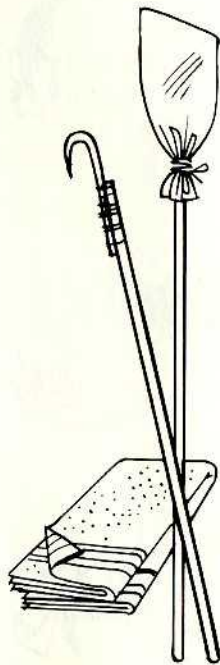


核爆発による熱線に対する防護

白く塗った窓ガラスは、熱線の大部分を反射して、内部に入れない効果がある。窓を閉め、シャッターをおろし、燃えやすいものは窓ぎわから離す。カーテン、衣類、寝具のような繊維製品は、みょうばん1キロ、硫酸1キロ、硼砂500グラムを20倍の水に溶かした液に浸した後、乾かせば、不燃性になる。これらのものは薬局で買える。

消火の補助手段

布を「ほうき」に巻きつけた火たたきは、小さな火災を消しとめるのに役立つ。とび口は、燃えているカーテンを引き裂いたり、燃えやすいものを火から遠ざけるのに使う。水に浸した布や毛布は、消火作業に当たっている者を防護したり、衣服に火がついた人を助けるのに役立つ。



住宅が燃えたとき

住宅自警団長は、団員1人と一緒に避難所を出て、屋内と、家の周囲を見回わる。

この場合、寝室に大きな出火があり、廊下に小さな出火があったら、

自警団長のとるべき処置は：

1

住宅自警団を呼び寄せる。

2

寝室のドアを閉め、火が広がらぬようにする。



3

廊下の小さい火事を火たたくで消す。



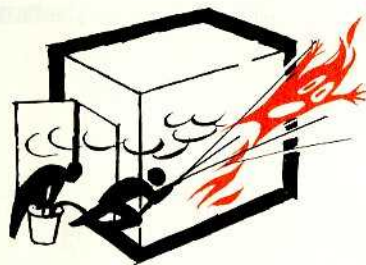
4

寝室のそばにある燃えやすいものを、全部運び出す。



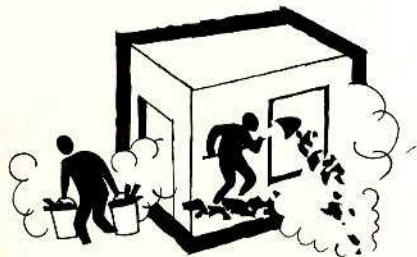
5

寝室のドアのうしろから消火に当たる。



6

バケツの水を、ポンプで寝室の火にかけるとびろを使う。



7

燃えたものを外に出し、燃えた場所を監視する。

屋根裏が燃えていたら

住宅自警団長は、屋根裏の火が、隣家の屋根裏の部屋と出口から下の階へ延焼するおそれがあると判断したとき、

自警団長は次の処置をとる：

1

住宅自警団を呼び寄せる。



2

屋根裏の部屋のドアを閉め、燃えているものが下の階へ落ちないようにする。
隣家に、延焼の危険があることを知らせる。



3

階下にある燃えやすいものを、すべて外へ運び出す。

4

下に落ちてくる火を消しとめる。



5

消火用水を補給する。



熱や炎、煙は、上にのぼるものだから、屋根裏の火災が下に延焼する危険性は少ない。機敏な行動をとれば、住宅自警団は、屋根裏だけで火災を消しとめることができる。

しかし、屋根裏部屋には窓があるので、ここを通して隣家に延焼するおそれがある。これを防ぐために、できるだけ早く隣家に知らせなければならない。



6

隣の住宅自警団は、屋根裏への延焼を防ぐ。

7

燃えたものを外に運び出し、燃えた場所を監視する。



区画自警団長は、各住宅自警団から受けた情報にもとづいて状況地図をつくり、その地域内で被災していない住宅自警団に対して救助を命令する。彼はまた、自分の責任地域内の状況を、市町村長その他必要な所に絶えず通報する。

火災に対する注意

無計画に事を運ぶな。まず見回った後、状況判断を行なえ。正確に判断して行動せよ。

まず、人および動物を救出せよ。

出火場所に近づくときは、姿勢を低くせよ。床に近い所は、煙が少なく、温度も低い。水に浸した布で口と鼻を覆え。ガスマスクは、熱は防げるが、一酸化炭素には効果がない。

水は火元を目がけてかけよ。煙や炎にやたらに水をかけても効果は薄い。火元に強い圧力のかかった水をかけると消火できる。

まず炎の下部を、それから上部を消す。1カ所から順次に消火せよ。

炎を押えることができないときは、部屋から部屋へ、階から階へ、一步一步後退せよ。

炎を常に見張り、水や砂をかけよ。倒壊のおそれのある建物から遠ざかれ。延焼を防ぐため、隣接の建物を見張れ。

爆弾から飛び散る可燃性合金と燐に注意せよ。白熱した軽合金または燃えている燐の固まりには、水をかけず、砂をかけよ。水をかけたら、四方八方に燃え広がってしまう。冷えた燐の固まりは、たとえ小さな断片でも注意深くかき落とし、砂をかけ、戸外に出せ。これは数日間は何び燃え出すおそれがある。

梁や、その他建物の各部分が完全に冷え切るまで、燃えた場所を見張れ。燃えた残りを消し、戸外へ運び出せ。



救出

従来の経験によると、瓦礫に埋もれたり、避難所に閉じ込められたりした者が、数日後に救い出されたことがある。しかし、救出作業は機敏であればあるほど成功の可能性が大きい。十分な装備を持ち、完璧な訓練を行ない、建物やその付近の地理について十分な知識を持っていれば、そして、救出作業を精力的に、かつ、忍耐強く行なえば、大いの場合、生命を助けることができる。

グラーベン通りの多数の建物が破壊された。災害地域の大部分は瓦礫の山となっている。残骸がくすぶり、事故現場にホコリが舞いあがっている。避難所の中や瓦礫の下には、少なくとも100名の人間が生き埋めになっている。住宅自警団長は、災害状況を判断して救助を要請する。救助隊は行動を開始する。

グラーベン通りは、全区域の中で最大の被害地である。区画自警団長は、同地に戦時消防班および工事班を派遣する。

平時に作成した住民登録のリストによって、住宅自警団長は行方不明者を確認する。次に、行方不明者を探し出すにはどうすれば一番よいかを調査され、その結果は、戦時消防班長および工事班長に詳しく通報される。

被害地処理責任者は救助作業を始めるべき場所を指定する。その際、住宅自警団長は被害地処理責任者を誘導し助言を行なう。工事班は、技術的の用具で装備し、燃える残骸の中から生き埋めになっている者を救い出す。戦時消防班は、この際に必要な防火措置を講ずる。住宅自警団はこれを援助する。

投入された総力をよく考えてうまく結集すれば、行方不明者を発見して安全な所に避難させることができる。

さらに、被害が大きくて、戦時消防班及び工事班の手に負えない時には、区画自警団長は、重装備を持つ対空防災隊に援助を求めることができる。住宅自警団長が区画自警団長から何の援助も受けられない場合も少なくない。というのは、戦時消防班や工事班は主要な被害地に投入されているからである。その場合には、住宅自警団長は、自分の配下の者とともに、生き埋めになっている人をできるだけ多く救助するように、全力を尽くさねばならない。

あわてないこと

救助作業は、たいていの場合、きわめて困難な状況のもとに、見渡しにくい残骸の中で、しかも、しばしば、夜間暗黒の中で行なわれねばならない。だから、むやみにあわてると、後になって非常に悔やむことになる。ここで最も真価を発揮するのが救助作業隊長で、彼は訓練期間中に習得した知識を冷静に応用する。彼は次のように考える。

1 だれが行方不明になっているか？

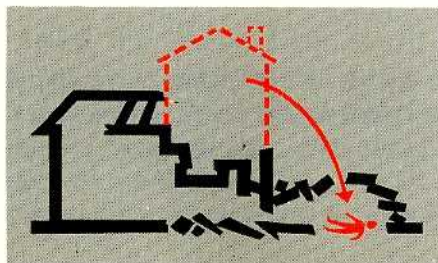
居住民表

1階、右	2階、左
マイヤー、フランツ	ファイナー、カール
マイヤー夫人	ファイナー夫人、エルザ
マイヤー、ヨーゼフ	ブルッカー、バンス
マイヤー嬢、アリス	ファイガー、ルードルフ
ベックマン嬢、アリス	
1階、左	3階、右

HAUSBEWohner-LISTE	
Parterre, rechts	2. Stock, links
V. Meier, Franz	V. Finer, Karl
V. Frau A. Meier	V. Frau Finer, Elsa
V. Meier, Josef	<u>Beurger, Hans</u> ?
V. Tel. Meier, Alice	V. Steiger, Rudolf
V. Tel. Beckmann, Alice	
Parterre, links	3. Stock, rechts
V. K... ..	V.

2 瓦礫の下に生存者はいるか？

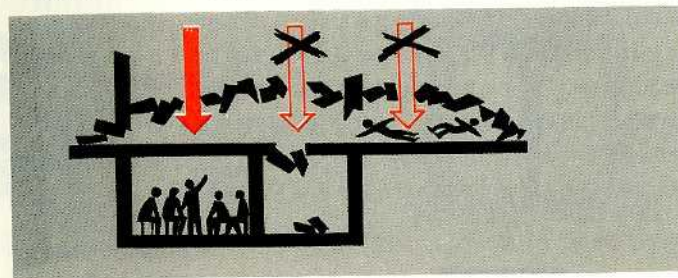
被爆時に
どこにいたか？



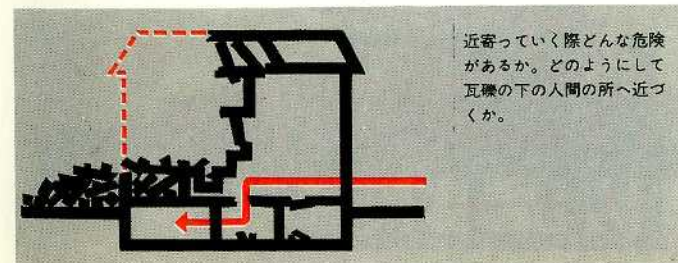
3 閉じ込められた人はどんな危険にさらされているか？



4 最初にだれを救助すべきか？



5 どうやって助けに行くか？



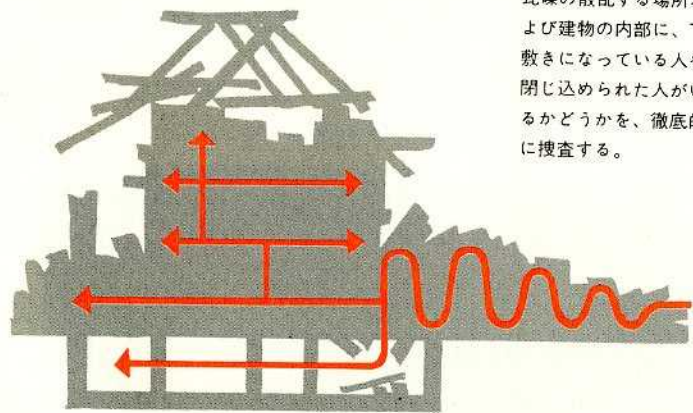
近寄っていく際どんな危険があるか。どのようにして瓦礫の下の人間の所へ近づくか。

一番よい近づき方は？

下敷きになっている人の所まで到達する救助隊は、被害現場を組織的に捜索する。瓦礫を1メートルごとに調べる。目にふれる所で倒れている人がいるかどうか、また、目にふれないまでもすぐ近くに下敷きになっている人がいるかどうかを調べる。救い出した人に同居人の行方を尋ねる。発見した人は、衛生班もしくは避難所へつれて行く。

一部が倒壊した建物の中に行方不明者がいるかどうかを調べる。その際、救助隊は、必要以上の危険にさらされないように細心の注意をもって行動しなければならない。閉じ込められている人および下敷きになっている人の緊急の度合いと、その数に応じて、救助隊は被害現場に再配置される。

救助隊は、瓦礫現場の水道管、ガス管、鉄骨などに耳をつけて音を聞く。これらを叩いて合図をし、「民間防災団だ、返事をしろ」と繰り返し叫びながら、閉じ込められたり下敷きになった人々との連絡につとめる。



瓦礫の散乱する場所および建物の内部に、下敷きになっている人や閉じ込められた人がいるかどうかを、徹底的に捜査する。

状況がわかったら、救助作業は次のようになされる。

小さい瓦礫の除去

重い瓦礫の持ち上げ

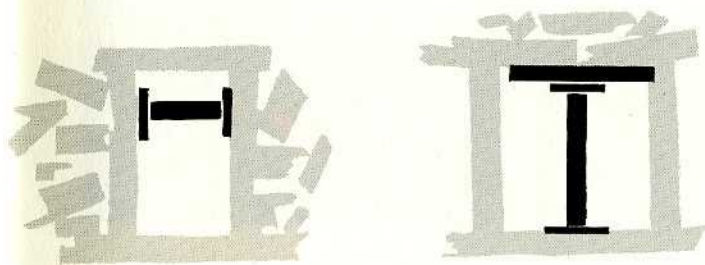
通路およびはい込み口をこしらえること

壁および天井を突き破ること

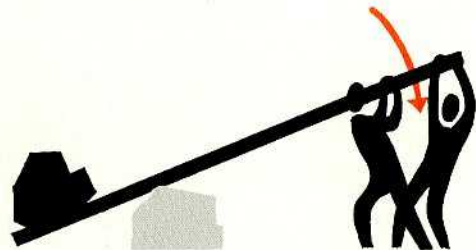
突っぱりや、支えをすること

壁や柱の崩れそうな入口を梁で突っばる。

崩れ落ちるおそれのある通路を梁で支える。



梁その他適当なものをテコを使って、重い瓦礫を持ち上げる。



救助された者を安全な場所に連れていく

救助された者のうち、特に手当を必要としない者は避難所に送る。下敷きになって怪我をした者は、瓦礫の中から注意深く救い出し、その場で応急手当を施す。しかし、これは、近くの救護所へ連れていくまで待てない場合に限る。



負傷の程度に応じた負傷者の運搬方法が、民間防災団によって教えられる。



負傷者は担架で地下室などから救い出される。その際、階段や、はしごの上を渡り、あるいは瓦礫の上を引きずるようにして運搬する。



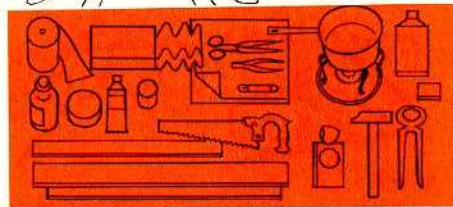
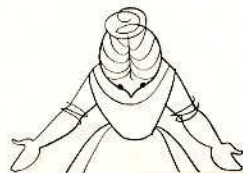
運搬の際には、けわしい山でやるように、足場がしっかりしているかどうかを、いちいち確かめなければならない。



ヴェレーナ・ヘルファー夫人は、民間防災組織の救護所の責任者となっている。彼女は、沈着に、心をこめて、なすべきことを行なう。なぜなら、彼女は、民間防災組織において、さらにその後に救急協会において得た応急手当の基本概念を、確実に自分のものにしてしているからである。

彼女は次のような救急用資材を持っている。

はさみ	脱脂綿	種々の看護用具
ピンセット	鎮痛剤	寝台
安全ピン	消毒剤	毛布
包帯どめ	絆創膏	ポリエチレン紙
ゴム・バンド	油紙	担架
包帯	止血ゴム管	担架用の押し車
包帯入れ	金属製の副木	救助板
三角布	詰綿	簡易便器
ガーゼ・バンド	キャラコ・バンド	懐中電灯
ガーゼ止血帯		



応急手当が生死を決定する

救護所では、応急手当が、迅速、簡潔、適切に行なわれる。その他のことはすべて医者が行なうが、だれでも応急手当の施し方を知らねばならない。そのために必要なのは、僅かの正確な知識と健全な常識だけである。

戦時においては、簡単なことが一番重要である。時機を失してはならない。応急手当は、しばしば負傷者の生死を決定するものである。

民間防災組織は充分な包帯材料を用意した。ヘルファー夫人は、慎重で思慮深い婦人なので、まさかのときには、他に多くの間に合わせのものが必要になってくることを知っている。そこで彼女は、破れたハンカチ、シャツ、シーツなどを捨ててしまわないで、きれいに洗って、細長く切り、プラスチックの箱にしまっている。

被害発生の後、
救助隊は、5人の負傷者を
次々に救護所へ運んだ。

[1]の男性（前腕に出血、多くの傷、蒼白、意識混濁、……）に対して——

- 1 男性：
前腕に出血；
多くの傷、蒼白、意識
混濁、呼吸困難、
額に冷汗、脈搏がほ
とんどない。



- 2 女性：
失神、
額に裂傷、
呼吸困難。

- 3 少女：
腕、脚に広範囲の火傷、
うめき声を出し、
応答せず。



- 4 老人：
下腿部骨折、
顔面蒼白、
意識は明瞭。

- 5 少年：
煙に包まれた地下室から
意識を失ったまま救い出
されたが、運搬の途中で
呼吸を停止。



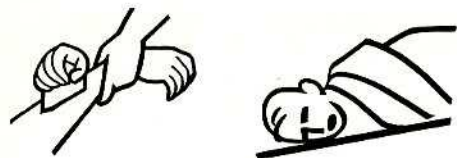
ヘルパー夫人は何をするか



応急手当：ヴェレーナ・ヘルパー夫人は気を取り乱さない。彼女は、血まみれの服が、しばしば実際以上の出血を示すように見えることを知っている。彼女は、負傷者を寝かせ、負傷の部分が高くする。彼女は消毒済みの止血帯を使う。これで充分なはずである。血液の循環がとまってはならない。ヘルパー夫人は、呼吸困難、意識混濁、顔面蒼白、脈搏が弱いことなど、負傷者の状態を見て、この人がショック状態にあること、すなわち、呼吸および血液の循環がとまるおそれがあることを認める。頭部は、脳への血行をよくするために低くする。

医者の手当がどうしても必要である：傷の手当、輸血用血清、血液循環促進剤。

意識のある負傷者に対しては、ヘルパー夫人は、ぬるい茶を与える。彼女は、負傷者に毛布をかぶせて冷えないようにする。

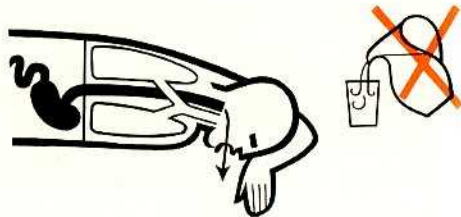


注意：出血部分が高くする。包帯で強くしぼる。止血ゴム管は使用せず。
ショック状態：頭を低くし、冷えないようにして、直ちに医者の手当を求めろ。
重傷者には、出血の有無にかかわらずショックの危険がある。

[2]の女性（失神、額に裂傷、呼吸困難）に対して――



応急手当：ヘルパー夫人は、頭部の負傷者は、しばしば脳震盪または頭蓋骨折を起こしており、意識を失っている場合があるということを知っている。失神者、特に頭部損傷者については、鼻、口、咽喉から嘔吐や出血があるかもしれない。したがって、失神者は、あお向けに寝かせず、横向きの位置に寝かせねばならない。あお向けに寝かせると、出血や嘔吐物が気管支に詰まって、窒息死や肺の障害を引き起こすことになりかねない。同じ理由から、ヘルパー夫人は、失神した婦人の口から物を注ぎ込もうとはしない。彼女は、この婦人の衣服をゆるめて呼吸を楽にしてやり、消毒ずみの包帯を額の傷に当てがう。その後は呼吸を注意深く見守る。呼吸が停止すれば直ちに人工呼吸を行なう。



注意：失神者は常に横向きに寝かせる。呼吸を楽にし、衣服をゆるめ、入れ歯を取り除く。液体は絶対に流し込まない。傷口を縛る。呼吸に注意して、停止すれば、すぐに人工呼吸を施す。

[3]の少女（腕、脚に広範囲の火傷、うめき声を出し、応答せず）に対して――



応急手当：ヘルパー夫人は、戦時の火傷に対しては、日常生活で起きる火傷と同じ手当をしてはいけないことがよくあるということ、民間防災のコースで習得した。戦時の火傷は、場合によっては、燐、化学兵器あるいは放射能による汚染を受けており、軟膏や、これに類似するものを塗れば、全く逆の効果を引き起こすことがある。治療の方法は医者だけしか決定できない。したがって、ヘルパー夫人は、火傷の部分を包帯でおおい、それ以上の汚染を防ぐだけにとどめる。傷にはりついた衣服の切れ端しは取り除かない。少女がショックの様相をていしていれば、頭を低くし、身体は温かくしておく。意識が回復すれば、お茶を少しづつ飲ませてやってもよい。この際にも医者の手当が直ちに必要である。



注意：火傷の際には、傷口に指を触れないこと。傷をきれいにしようとしないうこと。油、軟膏、粉などを用いないこと。火傷の部分をおおうこと。

[4]の老人（下腿部骨折、顔面蒼白、意識は明瞭）に対して――



応急手当：ヘルパー夫人は、老人のズボンを切り開く。下腿部が異常に曲っているので、脚部骨折が認められる。外傷はない。ヘルパー夫人は、医者だけしか骨折をなおせないことを知っている。彼女は、負傷者に、楽な、痛まないような姿勢をとらせるが、その際も、あまり身体を動かさないようにする。彼女は、彼の気分を落ちつかせ、熱いお茶を飲ませる。それから骨折した脚を固定し、骨折した部分の両端がぶつかり合わないようにして、運ばれるのを待つ。ヘルパー夫人は、金属製の副木がもう足りなくなったので、2本の木または板切れを使い、ソックス、ぼろ布、負傷者の衣服の切れ端などでくるんで、骨折部の上下の関節が固定されるように、ひもで結びつける。



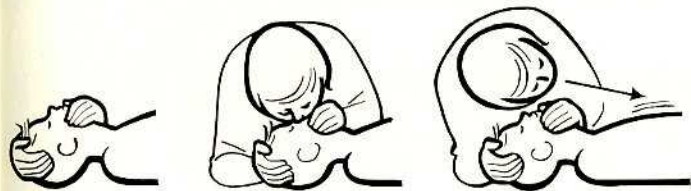
注意：骨折部分はできるだけ触れないこと。強いものでよく固定すること。皮膚に近い骨の部分に、やわらかいものを当てること。骨が皮膚の外まで出ているような骨折の際には、副木をする前に消毒ずみのガーゼで傷口を結ぶこと。

[5]の少年（煙に包まれた地下室から意識を失ったまま救い出されたが、運搬の途中で呼吸を停止）に対して――



応急手当：ヘルパー夫人は、空気がなければ人は3分間しか生きられないことを知っている。だから、彼女は、少年をすぐに、おお向けに寝かせ、一方の手で頭の上をつかみ、他の手を平たく顎に当てて、閉じた口の上に親指を伸ばし、ぐっと後方へそらす。こうすれば、舌が空気の通路をふさぐことにならない。この姿勢で呼吸が回復することがよくある。しかし、今の場合は、呼吸が回復しない。そこで、ヘルパー夫人は直ちに人工呼吸を開始する。彼女は、深く息を吸い込み、口を広くあけて、息を失神者の鼻に吹き入れる。この際、唇は負傷者の鼻にぴったりくっついていなければならない。

それから、ヘルパー夫人は（唇を離し、少年の胸廓を圧迫して息を吐かせる、これをくり返して）息をつぎ、（その間）少年が息を吐くのを注意深く見守り、胸部が沈んだり上がった様子や、呼吸の際の音に注意する。こうして彼女は、少年が自分で呼吸し始めるまで人工呼吸を続ける。



注意：意識不明の者は、呼吸が突然停止することがある。直ちに人工呼吸を始めること。鼻腔がふさがっているときには口から人工呼吸を行なう。必要なときには、口と咽喉をハンカチでぬぐって空気の通路をこしらえる。

訳者注記：上記説明文中、カッコ内の文はドイツ語版にはないが、日本の人工呼吸法の研究に基づき、訳者が補足したものである。

「核攻撃の後」は、ヘルパー夫人のなすべき仕事はふえて、一そう多くの警戒措置が必要となる。この仕事を、彼女は防空便覧によってよく知っている。攻撃を受けた情勢の詳細が不明であって、民間防災組織の核兵器化学兵器対策班が、放射能に関する通報をまだ出さないの間は、全部の負傷者が放射能の被害を受け、放射能を浴びたものとみなさなければならない。彼らの子りにまみれた衣服その他は直に取り除き、応急手当所から離して積み重ねなければならない。床や壁は水洗いする。

負傷者の状態が許す限り、少なくとも身体の露出部分を温かい石鹼水で洗い、必要ならば頭髮を洗うか刈り取るべきであろう。

ヘルパー夫人は、放射線障害を受けた人が放射線を出さないことを知っている。危険なのは、皮膚や衣服についた放射性の降下物が完全に除去されなかったり、放射能の子りが応急手当所内に持ち込まれたりする場合である。

そこでヘルパー夫人は、きっちりと締まった服、ガスマスク、びったりした入浴帽、ゴム製手袋を身につけることによって、自分自身の身体を放射性物質に触れさせないようにする。



包帯材料や食料品は、常にカギをかけて保管しなければならない。これらのものは、プラスチックの袋またはブリキ罐に密閉するか、布に包むかする。

傷口の開いた者、骨折、火傷を負った者などに対して、ヘルパー夫人は他の場合と同様の応急手当をする。

ヘルパー夫人は、放射線を浴びた人でも、衣服や身体に付着した子りをすぐ叩き落せば、必ずしも放射能障害が起きるわけではないことを知っている。

第一次照射による障害は、受けた照射の程度によって、重いこともあれば軽いこともある。最初の徴候として現われる不快感、嘔吐、下痢などは、たいてい数時間ないし数日たってから現われる。ヘルパー夫人は、これに対しては手の施しようがなく、医者による治療が必要であることを知っている。

負傷者の手当が終わった後、彼女は、すべてのものを水と石鹼で洗い、自分の身体も完全に洗って、他の衣服に着かえる。



nen stünden auf Grund der...
 an Samstag...
 Malais bestimmt, das der...
 gehört.

Die neue Truppenordnung hat unsere Landes-
 verteidigung bedeutend verstärkt. Doch sind wir
 noch nicht auf dem technischen Stande des Aus-
 landes, und werden diesen auch nie erreichen kön-
 nen. Man frägt sich, ob wir nicht anstelle unserer
 traditionellen Wehrpolitik eine Politik der Ver-
 mittlung der Humanität und der Entwicklungshilfe
 setzen sollten, um uns so unserem Platz unter den
 Nationen zu sichern.

Bedingungen des

Madrid, 19. Mai. 99 (AFP) Wie u
 Quello in Madrid verlangt, sollen die sin
 Arbeiter in der Kohlenruben Asturias best
 werden. Die A.
 haben, die zu Be.
 werden verhaftet.
 % werden. Nicht
 % in den



Die Diskussion im Nationalrat hat gezeigt, daß
 der Ständer immer weniger Verständnis für die
 will der Bauernstand zu zeigt. Dies ist ein unweilich
 wichtiges Landverordnungsverfahren. Wenn es so
 Bausen, dem man immer mehr entgegen, daß auch es so
 seinen Widerstand nicht mehr mit derselben Be-
 munterung leistet.

Motion der

20. M. 99 (AFP) Der
 ist in der
 Algeirie
 unter



Die Leistungen der Kämpfer des Großen Lan-
 des waren bestechend. Prächtige Burschen waren
 das, wie sie ihre außerordentliche Kraft mit ausgezeich-
 neter Technik zu verbinden wußten.

Kritik

Die
 auf dem
 und Finanzpolitik über | von
 em Wege geräumt zu sein. Men | den
 in der Regierung und
 ag einen neuen einzufrüh-
 arenum | zester, noch
 Monats zu einem Einver-
 werden.

Die Be und Mess

21. Mai (UPI) A
 der französisch
 Assamen hinter
 stromen haben
 herum, Gem
 ihnen geg
 d Oram

Die Weltgeschichte zeigt im zyklischen Ablauf
 Auslegung und Vorkriegsorg der Völker und Kultur
 ran. Man stellt sich die Frage nach unserem Status
 dort stehen, das dritte Zusammen-
 den beiden großen Machtblöcken werde.



軍事作戦を開始するずっと前の平和な時代から、敵は、あらゆる手段を使つてわれわれの抵抗力を弱める努力をするであろう。

敵の使う手段としては、陰険巧妙な宣伝でわれわれの心の中に疑惑を植えつける、われわれの分裂をはかる、彼らのイデオロギーでわれわれの心をとらえようとする、などがある。新聞、ラジオ、テレビは、われわれの強固な志操を崩すことができる。

こうして、最も巧妙な宣伝が行なわれる。これにだまされてはならない。戦争の場合、われわれの生き残ることを保証するあらゆる処置をとらう。生き残るためのあらゆる手段をとらう。素朴な人道主義に身をまかせると、あまりにも容易なことである。偽せものの寛容に身をあやまると、悲劇的な結末を招くであろう。敵の真の意図を見抜かねばならない。



Ein amerikanischer Psychologe hat auf Grund
 zahlreicher Testversuche festgestellt, daß wir uns
 einem sogenannten Venusalter nähern, das
 Prinzip durchsetzen wird. Das würde bedeuten,
 daß man auch bei uns die Mittel statt für Kriege,
 reile Zuehne anschiedlich für die

もはや恐怖に負けてはならない。学者たちは、あらゆる努力は無駄だとわれわれに信じ込ませようとしている。研究所が引き出した恐るべき破壊力を前にしては大声で恵みを求める以外にないと彼らは言う。

しかし、ノーである。われわれは最後までみずからの主人であり続けよう。

われわれは、力のかぎり平和を欲する。平和を守るためには、われわれはすべてを捧げる。平和をわれわれは愛するからである。

われわれの^{いのち}生命と運命が神の御手の中にあることを忘れてはならない。しかし、神のおぼしめしにそって神を助けるのは、われわれのなすべきことである。

国際緊張の激化
戦時経済措置の発動
統制配給
心理戦防衛強化
スパイと地下擾乱活動
民間防災の用意と訓練
文化財保護

外国における戦争の勃発
武装中立
軍隊および民間防災組織の動員
民間人の徴用
抑留者と亡命者
わが国の政治に対する国外からの圧力
放射能の危険



日一日と平和は不安定になってくる。
戦争の危険が生じただけでも、われわれの負担は重くなる。
明確な考察、強固な意志、犠牲的精神、これが必要になる。
これらの精神的条件は、軍隊においてだけでなく、国民の日常生活、経済生活においても、職場においても必要になる。
日常茶飯事における規律ある行動が特に重要である。このような時期に、外国はわれわれを注目している。われわれの一挙手一投足が注意深く見守られている。戦争の危険にわれわれがどのように対処するか、どのように持ちこたえていくかを見て、敵はわれわれを攻撃するかどうかをきめる。

さて、これから、わが国の波瀾の多い運命を辿って見よう。ここに出てくる名前などを現実に捜し出そうとしないでもらいたい。次に述べるのは、勝手につくり上げた例にすぎない。この人は一体だれかと推理してみたり、中に出てくる国や都会を地図の上で捜したりしないでもらいたい。それは捜しても見つからないであろう。

ボラリス通信の伝えるところによれば、3隻のヘスペリア国タンカーは、タラスク国の潜水艦によって、サメ海において撃沈された。

ヘスペリア海軍の軍令部長は、今後、モドックからの石油の運搬は、中部条約機構（MIPA）の艦隊によって護衛されるであろうと発表した。

中部条約機構の南方司令部は、5月12日17時15分、黒岬において、護衛中のヘスペリア国駆逐艦がタラスク国潜水艦によって撃沈されたと発表した。

ヘスペリア国大統領は、休養地から急いで首都に帰った。

中立都市タビル市では、タラスク国の支援を受ける進歩党が権力を奪取した。

戦争勃発の可能性あり

スイスのある新聞記事の要約：

情勢は急速に緊張した。われわれの周辺にふたたび戦争の気配がただよう。しかしわが国民はあくまで冷静さを失わない。目下の危険を過少評価することもなく、また、事態の推移を徒らに劇的にみることもせずわが国民は、国際情勢の発展を注目している。

不測の結果をもたらしかねない重大事件が発生するのは初めてのことでない。しかし、これまでのところ大国は、破局がもたらす恐るべき結果を前にして、二の足を踏んだのだ。

何よりも、わが国民は、わが国の防衛準備が完成されているのを知っている。われわれは、力の限りを尽して、何が起ろうとも、わが国の中立を維持しよう。

同じ日付の他の新聞記事：

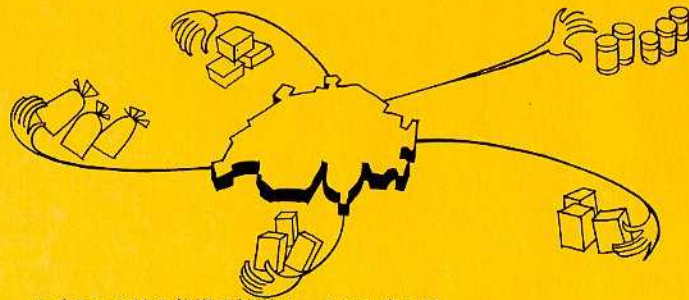
幻想を抱いてはいけない。日一日と情勢は悪化する。今夜検討された調停手続がうまくいかない場合には、事態はどこまで進展するだろうか。

警戒しすぎることはない。不意を打たれないためにできることは、すべて、冷静にやる必要がある。わが国の民間防衛および軍事的手段の価値を信頼しよう。

とりわけ、敗北主義に陥らぬこと、そして徒らに恐れないこと。われわれはまだ世界を支配する人々の叡知に期待をかけている。最悪の場合でも、核兵器だけは使われないよう期待する。しかしたとえ、使われたとしてもわが国の準備のお蔭でわれわれの何割かは助かることを知っている。

いかがわしい分子が何人が逮捕されたようだ。

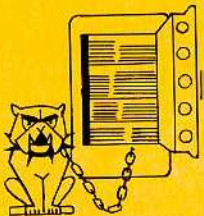
「スパイごっこ」におぼれてはいけないが、それでも今の段階からわが身を守れるようにしておこう。



スイスにおける物資の輸送は、まだ正常に行なわれているが、何十万という主婦が、日用品の貯えをふやそうとしている。卸売商人や輸入業者は、需要に応ずるため、また、在庫をふやすために、輸入を増加している。

国外の危機が高まったので、スイスの国民意識は強化された。激しくなる敵の宣伝工作によって、スイスでは、かえって自己の価値に一そう留意するようになる。スイスは、強い健康体が伝染病に対して反応するように、反応する。

起り得るかもしれない流通停止と配給制度への準備ができる。証明書は、最初の数カ月分が印刷され、各州で各市町村への配付の準備が整っている。緊急事態に臨んで戦時経済機構に編入される人々が決定されている。



自動車のガソリンは、
車のタンクへだけ入れ
る。予備タンクの給油
は不可



ここで想定された状況においては、連邦内閣は、たとえば、どの予約者も、自分の予約のある会社で、従来の年間所要量の70%を購入することができる、とするだろう。



今までの買い手にだけ、
従来の量で供給

非売、
軍用予備品

Staa-
Regie-
en vor
gutzu-
in R
sond
sprü
schär
der I
ist. I
Welt
nen,
terin
über
SED
opfer
Mach
stehe
auf d
übrig
der i
sollte

kontingentierung von Treib- und Brennstoffen

ihre
s Kon-
te aus
ill sie
as er-
nhilfe
Staa-
nkend
nisten,
fe im
Partei

zugewinnen», die vor dreißig Jahren von Saudiarabien annektiert worden seien.

Der Bundesrat traf vorbeugende Maßnahmen gegen eine Störung unserer Versorgung mit flüssigen Treib- und Brennstoffen durch überstürzte Hamsterkäufe.

Die Importeure, Grossisten und andere Händler sind angewiesen, nur noch ihre bisherigen regelmäßigen Kunden zu beliefern. Die insgesamt abgegebenen Mengen dürfen nicht größer sein, als was laufend durch Importe und Neueingänge ersetzt werden kann. An Tankstellen darf nur für den laufenden



ビクトル・ボルコップは、これは彼には該当しないものと考えた。彼は、ロイヤル・ホテルとフレストリ総支配人の暖房用オイルタンクをいっぱいにしてやったが、その値段というのは、ロイヤル・ホテルのバーで夜半にきめられ、しかもその際ボルコップの好意がちよっぴり示された、というものだった。そのために、彼は他のお客の配給分を減らしてしまった。戦時経済局はこれを摘発し、ボルコップは暗い所へ入れられた。彼は裁判で申し開きをしなければならぬまいだろう。

わが国の自由と多様性に対応して、宣伝と、異質のイデオロギーに対する対抗策も、また多様で自発的である。家庭、教会、学校、政党およびその他の組織、責任ある新聞、ラジオ、テレビは、各個人とともに、心理的国土防衛のにない手である。

gungskomitees zum «wirksamen Widerstand gegen die Chincsen» gebildet werden.

Wehranleihe stark überzeichnet

Die von den eidgenössischen Räten vor vier Monaten beschlossene Anleihe von 830 Millionen Franken zur Verstärkung der Landesverteidigung ist bereits stark überzeichnet worden. In einer spontanen Welle vaterländischer Begeisterung wurden über 200 Millionen Franken allein in Form von 100-Franken-Scheinen durch einfache Leute, Vereine und Schulklassen gezeichnet.

Erfolgsmeldungen der Royalisten

Dschidda, 6. Nov. ag. (AFP) Radio Mekka ver-

befrieder hader la ärgert In tion hülft Moska runge zugun gleich für d betrie Maßn 17. Ju volte politis

gspartei an der Regierung Kritik üben und möglicherweise in einigen Punkten gemeinsame Sache mit der Opposition machen werden.

Kombinierte Zivilschutzübung in Niederburg

ahb. In Niederburg fand in der Nacht vom Freitag auf den Samstag eine große kombinierte Zivilschutzübung statt. Der Chef des Eidg. Justiz- und Polizeidepartementes unterstrich durch seine Anwesenheit die Bedeutung der Uebung und führte anschließend gegenüber der Presse aus, daß ihn die Uebung außerordentlich befriedigt habe. Nach Ueberwindung aller Widerstände sei der Zivilschutz heute auf der Höhe seiner Aufgabe. Es würde möglich sein, auch bei schweren Angriffen die Verluste der Zivilbevölkerung stark zu reduzieren. Mit dem Zivilschutz sei nun der andere große Pfeiler unserer Landesverteidigung endlich errichtet und die empfindlichste Lücke geschlossen worden. Es sei heute möglich, daß Länder ohne genügenden Zivilschutz durch Kriegsdrohungen politisch erpreßt würden, ohne daß die Armee, für die man viel aufgewendet habe, zum Einsatz gelangen könne. Die Schweiz dürfe heute den Ereignissen gefaßt entgegensehen.

durch 1961 se die ehe der Arb Sowjetz und Un Der I auf sch die in n Oktober deckung meisten reservet Arbeiter standar vielen den Fu und des in der Fehlp Ausfall kontinu der Arb das neu arbei m Hunder empfind Ulbrich nicht v

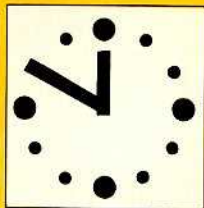
【上掲新聞記事の訳】 ニーダーブルクにおける合同民間防災演習

ニーダーブルクにおいて、全曜日の夜から土曜日にかけて、大規模な合同民間防災演習が行なわれた。連邦法務警察省の長官は、本演習を重視して、これに臨席し、演習終了後、演習が大成功であったと、次のような新聞発表を行なった。

民間防災組織は、万難を排して、今日、よくその任にたえ得るものとなっている。激烈な攻撃を受けても、民間人の損害をきわめて低くにとどめることができるだろう。民間防災組織によって、わが国土防衛のもう一本の柱が立てられ、一番の弱点が除かれた。今日、充分な民間防災を持たない国は、多額の費用をつぎ込んだが軍備が防衛に投入される前に、戦争の脅威によって政治的に強奪されてしまう可能性がある。スイスは、今日、事態の推移を冷静に見守っているだろう。

以下のページには、上記のような民間防災演習がどのように行なわれるかが述べられている。

ニーダーブルクは、早目に警戒体制をとるように指令された。市民は避難所の中にいる。市には灯火管制がしかれた。通りは人の影がない。病院の地下治療室、地下手術室、救護所などは、準備が整っている。民間防災の指揮班や行動隊も、出動準備が整った。警報および通信機関は、すでに活動を開始している。各部隊の長は、その補佐の任に当たる者とともに待機しており、いまや彼の双肩に全責任がかかっている。



ニーダーブルクはミ
サイル攻撃を受ける。
核兵器対策班は直ちに
放射能を測定する。



対空防災隊
出動準備完了。



戦時消防班、
工事班、保安班、
出動準備完了。



衛生班
準備完了。



対空防災隊
出動準備完了。



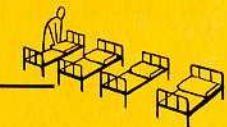
救護所
準備完了。



対空防災隊
出動準備完了。



対空防災隊
出動準備完了。



被災者収容所
準備完了。



戦時消防班、
工事班、
保安班、
出動用意。

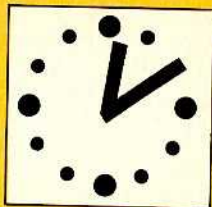


核兵器化学兵器対策班の報告によれば、放射能はごく僅かである。自警団（住宅自警団、職場自警団）は、避難所を離れてもよい。彼らは、負傷者に応急手当を施し、家をなくした人々の世話をし、多くの火災の火元を消す。地域防災長は、これらの活動を監督し、各団長から、それぞれの団の管轄区域の事態を絶えず報告させる。

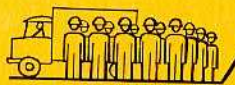
地域防災長は、入って来た諸情報を分析して、最大被害地を判定し、適切な対策を講ずる。

アルト街北部に大火災と破壊、南方に延焼する危険あり。

住宅自警団や職場自警団では、もはや手に負えない事態となってきたことが、確認された。地域防災長は、配下の部隊を導入することを決意する。



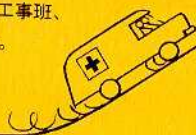
地域防災長は、配下の戦時消防班、工事班、保安班、衛生班を出動させる。



対空防災隊
行動開始準備完了。



戦時消防班、工事班、
保安班活動中。

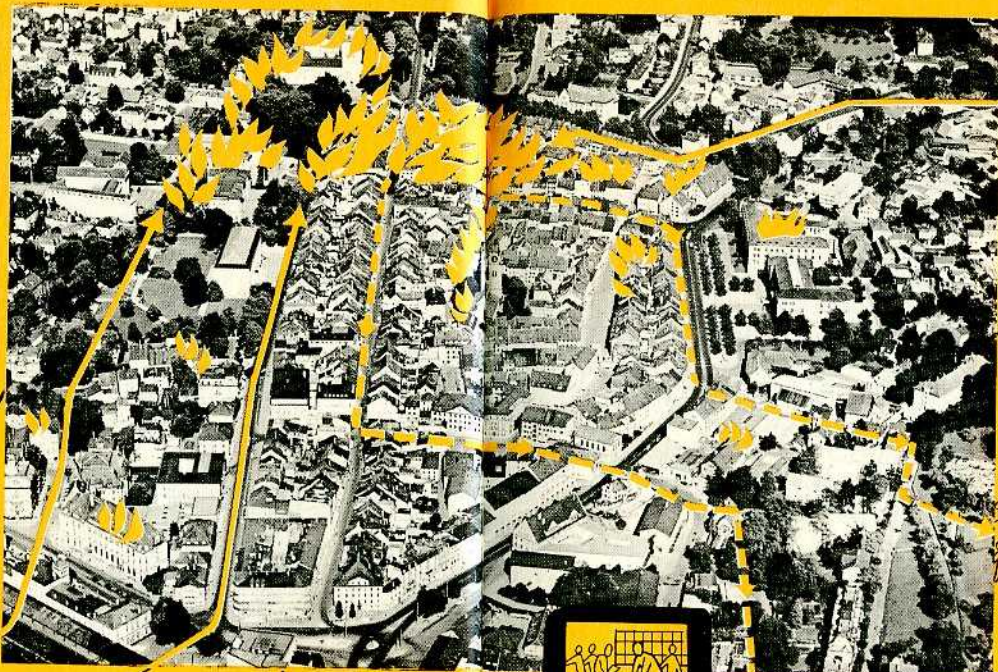


衛生班
活動中。



対空防災隊
行動開始準備完了。

救護所はコンクリートの下にある。運搬可能な負傷者は、さらに病院へ運ばれる。被災者や迷子は、収容所に連れていかれる。消防班と工事班は、大型救助器具を使って、閉じ込められた人々の救出を行なう。



戦時消防班、
工事班、
保安班
活動中。



対空防災隊
行動開始準備。



被災者収容所
活動中。



救護所
活動中。



対空防災隊
行動開始準備。



地域防災長は、被害が大きくて、自分の力だけでは防げないと判断する。火災は南方へと広がる。対空防災隊の隊長と協議し、同隊を被害中心地に差し向ける。



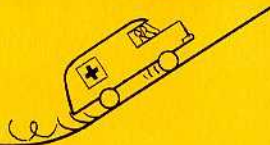
ニーダーブルクの対空防災隊の大隊は、4中隊をもって活動に入る。



対空防災隊活動中。



戦時消防班、工事班、保安班活動中。



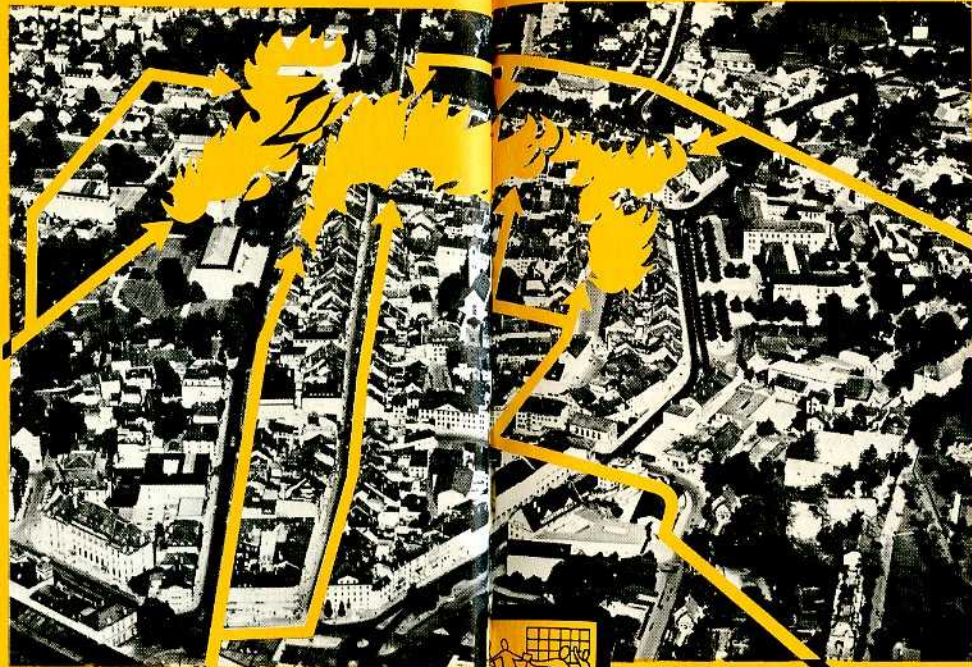
衛生班活動中。



対空防災隊活動中。

対空防災隊長は、地域防災長と協議済みの計画に基づき、現存する給水所、開放されている通路を考慮して、中隊を3方面から現場に向けることを決定した。

消防班が水煙をあげて消火作業に当たっている間に、救助にあたる隊は、火煙の中を、崩れかかる壁の間を縫って活動する。土木機械が瓦礫を取り除く。



戦時消防班、工事班、保安班活動中。



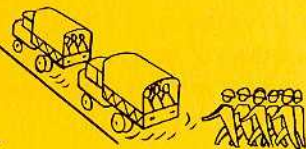
対空防災隊活動中。



被災者収容所活動中。



救護所活動中。



対空防災隊活動中。

圧搾機と焼き切り機を装備した軍隊と民間防災組織工事班は、瓦礫と邪魔物をかき分けて、生き埋めになっている人々のもとへ辿りつく。救助された者は安全な場所に運ばれ、負傷者は医者の治療を受ける。地域防災長は、指揮下の民間および軍事的組織によって、被害を少なくすることに努める。

われわれが祖国を救うためと思ってやっても、敵の工作に幻惑されるならば、迷ってしまつて、われわれらしくないことをするといった危険がある。：

愛国運動宣言

敵国の強力な宣伝工作および反宣伝工作に立ち向かうべきときが来た。遺憾なことに、従来、当局は、このためにほとんど何らの措置もとっていない。敵は、政党、青年団体において、政治的、イデオロギー的の訓練を受け、戦闘的組織をとっている。これに対抗し得るためには、われわれも同様なことをせざるを得ない。われわれは、スイスの教科書の内容を、イデオロギー体系的に説明する必要がある。わが国内でも、敵国の論客や煽動者に立ち向かえるように、弁証法をあやつることのできる人を養成しなければならない。われわれは一致団結して、勇敢な軍隊そのものになる。われわれのシンボルは、先祖が使った「球形武器」である。われわれの関（とき）の声は、昔のスイスと同じ「ハルース」である。



愛国運動

署名 ヴィルヘルム・アイフェルリ

心理的国土防衛に専心するのあまりに、政治的過激主義に陥ることのないよう用心しなければならない。敵が攻撃に用いる手段をそのまま反撃のために用いなければならないと考えるのは、ゆゆしいことである。宣伝に立ち向かうのに、同じたぐいの反宣伝を行なう必要はない。左右の全体主義イデオロギーには、思想の自由をもって対処すべきである。イデオロギー的訓練とは、人間社会生活の法則を勝手につくり上げ、これに基づいて人間の行為を規定することであつて、このようにして、人間の自由な思考と行動に対する責任というものをなくしてしまう。

わが国家は、自由とキリスト教の上に成り立っている。この両者は、ともに、イデオロギーでもなく、教条的体系でもない。われわれは、入り乱れる精神的闘争の中にあつて、われわれの、最上の価値を持つ財産を、見失ってはならない。教条的訓練を受けた大衆の力におそれをなしてはならない。したがつて、スイスで言う心理的国土防衛とは、教条的訓練ではなく、各人の判断力と完全な責任感を養うことである。したがつて、スイス精神をはぐくむということは、第一義的には、連邦議会のする仕事ではなく、全国民、政党、教会、精神的・文化的団体のする仕事、各人のする仕事なのである。両親、養育者、教師、ジャーナリスト、作家、芸術家、これらの人々は、スイス精神を国民に植えつけ、自己主張の意志を強化しなければならない。

心理的国土防衛は、わが国の多様性と自由を反映して、多様の根を下ろしている。市町村、州、連邦の役目は、この思想の自由な発展を力の限り促進することである。特に、当局の果たすべき仕事は、われわれの精神的抵抗力に対する敵の攻撃方法を、模倣するためにではなく、われわれの防戦に必要な資料と知識を得るために、詳細に研究させることである。

M I P A 司令部筋からの情報によれば、タルメニア国境に展開中のタラスク軍の動きが確認された由である。

今晚のテレビ演説で、ヘスペリア国の大統領は、「タルメニア国へのいかなる国の侵略に対しても、わが国は直ちにあらゆる手段をもって対抗する」と宣言した。

タビル市では、市の防衛のために「緑」政府が樹立された。情報によると「緑」政府軍はタラスク国の義勇兵からなっていると伝えられる。

ヘスペリア国の大都市住民は、当分の間、夜を避難所で過ごすように指示された。

戦争の切迫

経済国防委員会担当連邦内閣委員の声明：

われわれが当面している政治危機は、わが国民を不安に陥れている。連邦内閣は、刻々と展開する事態の推移を見守っており、必要に応じて、長期間にわたって準備した適切な措置をとる。冷静を欠くことは災禍を招く。必要物資は確保されている。

米、めん類、からす麦、大麦、とうもろこし、小麦粉、片栗粉、砂糖、コーヒー、食用油脂などの食料、石鹼、洗剤その他、生活必需物資の公正な配給割当が命ぜられ、即刻実施された。

買占めは、すべて処罰する。

一部裕福な人のみが必需品を確保できるというような事態は、断じて許せないことである。

本日の会議において、連邦内閣は、今後、わが国に入国を許可するのは、外国の政治的亡命者と、わが国の農工業に仕事を求める労働者だけである、と決定した。わが国に不動産を持っている外国人も、これについては、どのような特権をも要求することはできない。

ある地方新聞の記事：

収入の少ない家庭を買占めから守るための配給割当は、迅速に実施された。

この措置は、正義に基づくものであって、わが国民にとって大いに役立った。

当局が行なっている配給割当は、日を追って効果を發揮している。利己主義者たちは、ひともうけしようと企んでいるかもしれないが、百貨店も一般の商店も、彼らに大量の品物を売らないから、その企ては断念しなければならない。特に、商店に対しては、ふだんからのお得意さんだけに売るようにとの命令が出たので、商店を回わって買い占めることもできない。

身分証明書に商店のスタンプを押すことになったので、詐欺行為もできない。

充分な収入のない家庭も、前もって備蓄の用意ができなかったことを心配する必要はなく、最小限度必要なものは手に入れることができる。

この規則が厳守されているお蔭で、食糧事情がきわめて困難になることを恐れることなく各家庭は、安心していられる。

買占めをしようと思っている者には気の毒だが、これによって、金持も貧乏人も、同じ苦楽を分かち合うのである。



わが国の企業にとって困難な事態

外国人労働者が不足したため、多くの企業は、生産を縮小したり一時的に中止したりせねばならない。新しい企業や、手も上げ過ぎた企業の高値な設備によって、生産原価は極端に押し上げられているので、これらの企業にとっては特に影響が大きい。

もしもこれらの企業が当局の警告を受け入れていたら、今日、このような事態は生じなかっただろう。

文化財の保護

国立博物館事務局の発表によると、同事務局は、国際間の緊張によって世界に戦争のおそれが強まっているので、国立博物館の最も貴重な陳列品を安全な場所に移した。

当分の間、貴重な芸術作品の一部は公開できなくなったが、国民はこれを理解してくれるだろう。

わが国の経済に対する打撃

ヨーロッパのMIP A加盟諸国では、すべて予備兵を動員したので、わが国の経済が依存していた外国人労働者は、大部分が国外に去り、わが国経済は部分的に麻痺状態に陥っている。

Schwarze Tage für unsere Industrie

GG. Zufolge der plötzlichen Abwanderung ausländischer Arbeitskräfte mußten bereits zahlreiche Industriebetriebe ihre Produktion stark reduzieren und teilweise ganz einstellen. Besonders empfindlich wirkt sich dies in den zahlreichen Betrieben aus, die trotz allen Warnungen erst vor kurzem stark erweitert oder neu errichtet worden sind und wo die kostspieligen Anlagen stillgelegt werden müssen, bevor sie auch nur einigermaßen amortisiert sind.

Kulturgüterschutz

Die Direktion des Schweizerischen Landesmuseums gibt bekannt: Angesichts der Weltlage sah sich die Direktion der Schweizerischen Landesmuseums veranlaßt, im Rahmen der vorbereiteten Maßnahmen zum Kulturgüterschutz ihre wertvollsten Sammlungsobjekte in Sicherheit zu bringen. Die Direktion bittet das Publikum um Verständnis, daß bis auf weiteres einige wichtige Objekte nicht ausgestellt werden können.

Aderlaß unserer Wirtschaft

Abb. In den europäischen Mipa-Staaten ist die Mobilmachung aller Reservisten verfügt worden. Da anzunehmen ist, daß der größte Teil der Verheirateten auch ihre Familien mitnehmen wird, bedeutet das, daß die schweizerische Wirtschaft auf einen Schlag mindestens ein Drittel ihrer Arbeitskräfte ver-

陸軍部隊と国防軍の地域防衛隊のそれぞれの参謀の一部が、それぞれの動員計画に従って動員された。

地域防衛隊に属する軍事経済将校は、戦時経済機構その他の関係当局および民間防災組織と連絡をとって活動を開始する。

軍事経済将校は、食料品と飼料のリストを管理し、家畜を調査記録し、軍隊、民間防災組織および戦時経済にとって欠くことのできない徴発を行ない、戦時用貯蔵倉庫を点検する。

国民生活はどんなことがあっても続いているかなければならないので、連邦、州、市町村の当局は、数々の困難に当面しながら秩序を維持しなければならないのである。



総司令官の任命

—新聞記事抜萃—

上下両院は、今朝11時に合同会議を開き、203票をもって、わが軍の戦時総司令官としてロドルフ・ウエルドミュラー將軍を選出した。

その他の首脳部将官についても投票が行なわれた。ウエルドミュラー將軍は、満員の議場に、落ちついた態度で入場し、宣誓を行なった。

下院議長は、議員を代表して祝詞を述べ、將軍自身と、今日から將軍が指揮する軍隊に対して、国民が抱いている信頼感を表明した。

全スイス国民は、ウエルドミュラー將軍の総司令官選出に満足し、これを歓迎した。



情勢は悪化する一方である。国境部隊と、かなりの数の特殊部隊に対して、動員命令が発せられた。

動員された部隊は直ちにその任務を尽くす旨を宣誓した。国境は閉鎖され、侵略者の役に立ちそうな道路沿いや各地域の標識は、すべて取り除かれた。

わが軍の陣地は、国境においても国内においても、充分に固められている。



特定の道路は閉鎖され、障害物が置かれている。重要な施設は軍事的に監視されている。



爆薬が設置された構築物は、いつでも爆破できる状態に置かれている。交通規制が行われている。



鉄道従業員の一部は武装している。



偵察飛行隊は、入念に標識をつけた国境線の上空をパトロールしている。

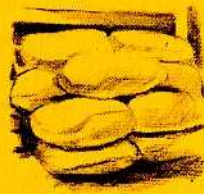


灯火管制が全国に発令されている。

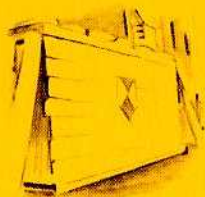
地域防災組織は、出動体制をとっている。



応急手当所および救護所が組織される。給水所が、水道網と別個に設けられる。



必要な個所では監視が強化され、連絡計画と連絡網が整備されている。



企業の記念物と博物館には、文化財保護の国際標識が付されている。(櫃の模様)

地域防災組織は演習を行なう。

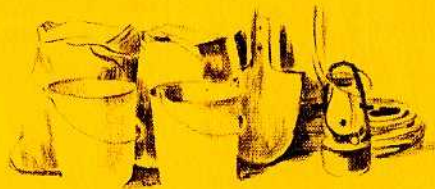


職場自警団は常時出動体制をとっている。



住宅自警団は、手元に水と砂を用意している。

屋根裏は、きれいに片づけられる。



新聞記事抜萃

今や戦争状態に入ることには必至と見られる。戦争以外の手段で両陣営が、現在の悲劇的状态から抜け出す方法は考えられない。

連邦内閣は、今や、奇襲的攻撃を避けるため、わが軍隊に対して部分的動員を命ぜざるを得ないことを認めた。

ウエルドミュラー將軍の任命は国民に好い印象を与えた。国民は、將軍の決断力と、將軍がこれまでの軍歴において、自分の指揮下にあった部隊に対して常に示してきた理解力とを、高く評価している。

総動員も間近であろう。総動員が急速かつ完全な秩序のもとに実施されるために必要な、あらゆる措置がとられた。銀行の窓口係は、かけつけて来たお客の要求をさばくのに苦勞している。

灯火管制はどこでも規律正しく守られている。民間防災組織によって命ぜられた仕事は急速にはかどっている。

責任者は、各家庭を視察し、特に灯火管制の分野でとられたあらゆる措置を監督した。

学校の運動場に堀が掘られた。そこには民間防災に必要な水を入れることになるう。

ニュース映画はタビル市の義勇軍動員状況を見せている。何という熱狂ぶりであろうか！ 宣伝はその力を失っていない。

リオン・ドール亭で、人々は、わが軍の総司令官はかつて緑シャツ運動に同情的であったらしいと語った。ロン伍長はそれを信じなかったが、仲間にその話をした。

「ツァイト」紙は、食糧配給に関する連邦内閣の怠慢を非難したセンセーショナルな絵入りの、偽せのドキュメンタリー記事を掲載した。

トラスク放送は、毎日、「われわれを勝利の道から引き戻せるものはない」という歌を放送している。この勝ち誇った歌声はわが国民にも影響を与えている。こんなものは聞かないほうがいいのではないだろうか？

トラスク側の雑誌は、スイスに気に入らぬ記事を掲載している。そのテーマは、「われわれの理想は同じだ。手を結ぼうではないか。」

敵は、われわれの内部における抵抗力を挫折させるための努力をしている。わが国民に偽わりの期待を与えて欺こうとしている。われわれをスパイし、わが国政府に反対する世論をあおり、われわれの制度を批判し、ときには、おどかし、ときには、取り入ろうとしている。

われわれの批判精神、判断力は、きびしい試練にさらされている。われわれを取り巻く偽わりの網の中から、絶え間なく真実を選び出さなければならない。

われわれに提供される偽わりの情報や、われわれの指導者や政府に対する悪口を、十分に警戒しなければならない。国際情勢も、悪意あるやり方でわれわれの前に示されることがある。われわれの義務は、断固たる態度をとり、嘘を言いふらさないことである。新聞、テレビ、ラジオの義務は、客観的に報道することである。それによってのみ真実が取り戻される。

タビル市の市長は今朝、同市をタラスク国に併合すると宣言した。

パダニ国代表は“世界機構”の席上、自由都市タビルのタラスク国への併合に対して抗議した。同氏は国際軍を派遣してタビル市を占領するよう要請した。

MIPA南方司令部は、護送船団に接近した2隻のタラスク国潜水艦を撃沈した、と発表した。

タビル中立化地域の国境では、「緑」政府軍とパダニ軍の間に激しい戦闘が展開された。

パダニ国大統領は、「タラスク国との外交関係は断絶しない。今なお、紛争の解決を望む」と述べた。

わが国の周囲に戦争勃発

人々が長い間恐れていた戦争が勃発した。タビル市のいわゆる「緑」政府軍に関する茶番劇の秘密は決定的に暴露された。それは、すべての機動力を装備した徹底的な近代的軍隊である。

外交官の召還こそまだ行なわれていないが、わが国の国境では、戦争の空気が濃厚である。

連邦内閣は、わが国の中立の権利と、それをいかなる手段によっても尊重せしめようとするわれわれの決意を、明確に表明した。

わが国境は閉鎖されている。わが国境に構築されている要塞や砦に対する部隊の配置は、数日前に完了している。

軍隊と民間防災組織の総動員が発令された。揭示によって動員が国民に知らされ、政府は全国民に、平静を保つよう求めている。動員が秩序正しく行なわれるため必要な、あらゆる手段が講じられている。戦時刑法の規定が実施に移された。

連邦内閣に与えられた非常大権

- 自由販売の禁止と配給制 次の品物について行なわれる：
米、めん類、からす麦、大麦、小麦粉、とうもろこし、片栗粉、豆類、砂糖、コーヒー、食用油脂、石鹼、洗剤、固形および液体燃料、繊維製品、靴。
- 配給制以外の食品の配分 パン、肉類、牛乳、チーズ、罐詰などについて。
- その他の措置 物価統制委員会は、価格を決定する。
公共輸送手段に対する戦時時刻表の決定。
民間電話連絡の制限。
きびしい道路交通の制限。
避難の規制。
規定航空路以外の航行禁止。
- 連邦議会の決定：
国の安全を確保するため、連邦議会は、連邦内閣に対して、いかなる情勢においてもスイスの中立を確保するための大権を与える。
連邦内閣は、経済面においても、必要なあらゆる措置を講ずる。

スイス新聞の記事抜萃

動員は、国内至る所で、秩序と規律のうちに実行された。しかしながら、これを混乱させようとする数々の虚偽の情報が、わが国のあちこちの地方で言いふらされたことを、国民の前に明らかにしたい。

命令に全く反する発生源不明の指示が、一般国民の中に流布されていたのである。

ラジオとテレビは、秘密ゲリラや外国の宣伝の仕わざであるこれらの策略と対決するため、敏速な行動をとることができた。

もう一度繰返そう。わが国民は、あらゆる敗北主義的ニュースを警戒せねばならない。

武力に訴える前に、巧妙かつ悪質な宣伝でわれわれを倒すことができれば、敵にとって最大の利益であろう。

故に、自制することを学んで、われわれの足下に仕がけられたワナに陥らないようにしよう。政府当局のみが、国民の名において語ることを許されているのである。何が起こっても当局は国民に知らせるであろう。当局から出たもの以外の情報は、すべて拒否しよう。

今朝、戦時体制に入った部隊は、急速に、それぞれの動員部署に到着し、武器装備を手にした。確立された計画に従って集結が実施されつつある。事故は全く起こっていない。動員されなかった者は沈黙を守ることが、せひとも必要である。わが軍部隊は「スイスのどこか」にいるのである。

沈黙することのできない者は、国の利益を害することになる。口を閉じて、われわれの舌を温かくしておこう。道ばたで拾ったどのような噂話も流布されないようにしよう。沈黙も、国に対する奉仕である。

国民への通告

(動員の数日後、各公民館の壁に次のような通告が張り出される。)

「国の防衛のため、一貫した努力が国民に求められている。軍は、その防衛陣地を完成するために、とりわけ、工具、建築資材および各種の車輛が必要である。このために、われわれは次のことをよく知っておこう。

1. 徴発は、合法的に明確に定められた規定によって規制される。軍、民間防災組織および戦時経済部は、補償を行なうことを条件として徴発を行なう権限を有する(資材、車輛、工具等)。市町村当局は、民間防災組織が必要とする資材を確保するために必要な措置をとる。
2. 原則として、徴発は地域防衛隊の任務である。軍事経済将校は、徴発されるものの所有者に受取証を渡し、また、徴発された資材の返還が必要な場合には損害賠償とともになされるように注意する。
3. 例外的に、徴発が軍隊によって直接行なわれる場合には、その責任者は必要な受取証を発行する。この書類の写しは必要な手続きのため最も近くにある地域防衛隊司令部に送られる。
4. 国民は、国の防衛に必要な場所や土地を軍隊が使用することを拒否できないが、補償を受ける権利を有する。防禦構築物の建造に先立って、その場所の所有者は、責任者の将校に対してその権利を主張すれば、これについて書類が作られる。

徴発に関する法令についての詳細は、市町村の係に問い合わせられたい。そこでは、徴発に関する法規定について相談に応じることになっている。

事務局長：X

沈黙することを心がけよう。慎重さは、戦時においては特に美德である。

交戦国は、いずれも、明日はわれわれの敵になるかもしれない。われわれに関係のあることは、すべて彼らの関心を引く。したがって彼らは、われわれに関する情報を得る機会を逃がすことはない。

わが軍の所在地、わが国の防衛装備、手段、列車、時刻、民間事務所の電話番号、部隊移動の有無、どんな建物が保護されているか、ある区域に軍事施設があるか。――



どんな情報でも敵にとって有益である。ある官吏の名前とその習慣を知ること、わが方に同盟者を求めようとしている敵に、いつかは役立つであろう。われわれは自分の弱点を知らねばならない。沈黙することを心がけることは、国家防衛に協力することである。

「禍い転じて福となる」と言うが、わが国の生徒児童は、現在の状況に大いに満足している。というのは、学校の敷地は軍隊の使用に充てられており、大部分の教師は動員されている。この嬉しい休暇がいつまで続くだろう？

X市に住んで、市の上流階級と交際していた、ある外国人が逮捕され、その自宅から無線通信機が発見された。社交の名のもとに、彼はいろいろな情報をたくさん集めていたが、遂に仮面をはがされたのである。

仕事のできる年齢に達している生徒には、農場、工場、商店などで、いろいろな仕事が割り当てられて、動員された人々の代りの役を果たしている。

騒々しい夜

わが国民は、昨夜は充分眠れなかったであろう。装甲車の通過、飛行機の絶え間ない爆音など、われわれに戦争の気配を強く感じさせたが、幸いにも今朝は静けさが戻って来た。病院の屋根には大きな赤十字が描かれた。

話の種

われわれの隣の地区では、ある一家が一寸忘れることのできないような災難に会ったとのことである。それというのは、動員令が下るとともに、X氏夫妻は車で自分たちの山荘に向かったが、何という不運か、最初の橋の入口で憲兵につかまり、家に送り返された。結局、X氏夫妻は、みんなと同じ運命を分かち合うことになったのである。

民間防災組織は、戦闘部隊と同時に行動態勢に入り、数日間で準備を完了した。そして、不慮の災害に際してすべてのことがうまく動くように心を配っており、任に当たる人たちは、この最もデリケートな任務になじみつつある。

いろいろな訓練の結果、この機構の弱点が明らかになったが、うまくいかないところを改めるだけの余裕があった。二週間後には、毎週交代する四分の一の隊員は自分たちの部署につき、四分の三は出勤態勢に置かれて、一定の区域を離れてはならないことになった。そして、警報が鳴ったら全員がその部署にかけつけるのである。

住宅自警団は毎週一回合同演習に参加する。

地域防災組織のメンバーは、他の人々を訓練する任務を持つ。

こうして、民間防災組織の人たちは、平時に訓練を受けなかった人にも訓練がだんだん行き渡ることになり、整然たる活動が国の全地域で遂行されることになる。

数日前、メルヴィルの鉄道の橋に近い農家の納屋に積まれてある乾し草の中に、鉄道従業員の制服が三着隠されているのを、その農家の主人が発見して、警察に届け出た。秘密のうちに監視が行なわれた結果、わが国の鉄道幹線の一つを爆破しようと企んでいたにせの線路検査係が三名逮捕された旨、警察から発表された。

デュトレンでは、ある日、飲料水貯蔵所の監視人が、貯蔵所の鍵がなくなったことに気づいた。通報を受けた警察は、正式の滞在許可証を持っている外国籍の銀行員を逮捕したが、同人は、盗んだ鍵を使って貯水所に侵入し、飲料水を汚染するために、暖房用オイルのいっばい入った入れものを用意していた。この妨害行為は実行寸前に防止されたが、われわれの警戒心はこれによって強められた。われわれの置かれている状況のもとでは、用心し過ぎるということはないのである。

モントルジュの丘にある森のはずれで遊んでいた子供たちが、地面を掘ったところ、無線通信機のほか、いろいろな道具の入っている小箱が出てきた。子供たちはこれらの品物を喜んで村に持ち帰ってしまったので、警察は、妨害工作あるいはスパイ網を発見できるせっかくの機会が失われてしまったことを、非常に残念がっている。

敵はあらゆる手段を使ってわれわれを弱めようとしており、そのために戦争が始まるまで待つようなことはしない。スパイ行為は第一の武器であり、収獲も大きい。敵はわれわれについて充分すぎるほど情報を持っている。大仕かけに行なわれる妨害工作は、国民の士気を衰えさせると同時に、国の正常な活動を麻痺させることができる。

細心の注意を払い監視を強めても、そのすべてを発見することはできないが、国民が注意深く気を配り、疑わしいことがあったら躊躇することなく通報することは、この非常時においてきわめて重要なことである。表面を見ただけでは何でもないことが、発見の重要な糸口となることもあるのだ。とは言っても、スパイ恐怖症にかかったり、大胆な妨害行為によって挫折感に襲われたりしてはならない。冷静を保って敵の手にのらないことが大切である。

rückdem sich und adien des ofiel. a zu ihnen n zu rkün- und isam- ielen, und il sie rmee, vilen r ge- Da- traße n die erum sehen sghen- dner- genis-

Labyen habe daher ihren Außenminister beauftragt, bei den diplomatischen Vertretern Großbritanniens und der Vereinigten Staaten in Tripoli in diesem Sinne vorstellig zu werden.

Todesstrafe für Spione und Saboteure

Die Vereinigte Bundesversammlung hat heute die Begnadigungsgesuche der vier von den Militärgerichten zum Tode verurteilten Spione und Saboteure abgelehnt. In drei Fällen handelt es sich um schwere Fälle von Auslieferung militärischer Geheimnisse an eine auswärtige Macht, in einem Falle um einen schweren Fall von Sabotage an einer militärischen Anlage. Die Bundesversammlung hat mit der Ablehnung der Begnadigungsgesuche einen grundsätzlichen Entschcheid von großer Tragweite gefällt. Die Bedeutung dieser Sitzung war dadurch unterstrichen, daß die Bundesversammlung fast vollzählig war, und die Voten waren von hohem Ethos und Verantwortungsbewußtsein getragen. Alle Seiten des Problems wurden sehr wohl abgewogen.

Kairo, 20. Mai. ag (AFP) Anlässlich der Rückkehr von ägyptischen Truppen aus

industri- fungen vo- sollen, e- mindern auf den meiden, gemischt ternehm während schäfttig

Der die Wir Lande die Wi und das angewer

Die schaft dem Vo prinzips missionen wesens Partei den. Di Partei a

Schl mit der

地方新聞の記事

昨夜、公民館の講堂で連絡会を開いた。

配給係長は、配給問題に関係のあるすべての人々を招集して、家庭用食糧の供給を暫定的に規制するカードの使用について、一般国民に周知徹底をはかった。それは、今後施行されるいろいろな措置についての個別的な質問が殺到することを避けるためである。

こうして、すべての家庭に対して詳細な指示が与えられたので、今後、各家庭は、カードの使用法が説明されていなかったという口実が使えなくなる。牛乳を優先し、その代りに肉の割当を減らした子供用のカードが近く採用されることも、その際、発表された。

衣類と靴についても特別なカードがつくられたことが注目される。

国際情勢がこのような規制手段をわれわれに強いる段階にまで悪化したことは、まことに悲しむべきことであるが、貧乏人も金持も同じように扱われるという事実は、われわれの心に一種の満足感を与えていることも否定できない。

今後は、物質的満足を得るためには、お金をたくさん持っているだけでは充分でなく、「クーポン」と「点数」も必要となるわけである。

【上掲記事の訳】 スパイ・サボタージュ行為に死刑

本日、連邦議会は、軍事法廷で死刑を宣告されたスパイと妨害工作者四人に対する特赦の請願を、拒否した。

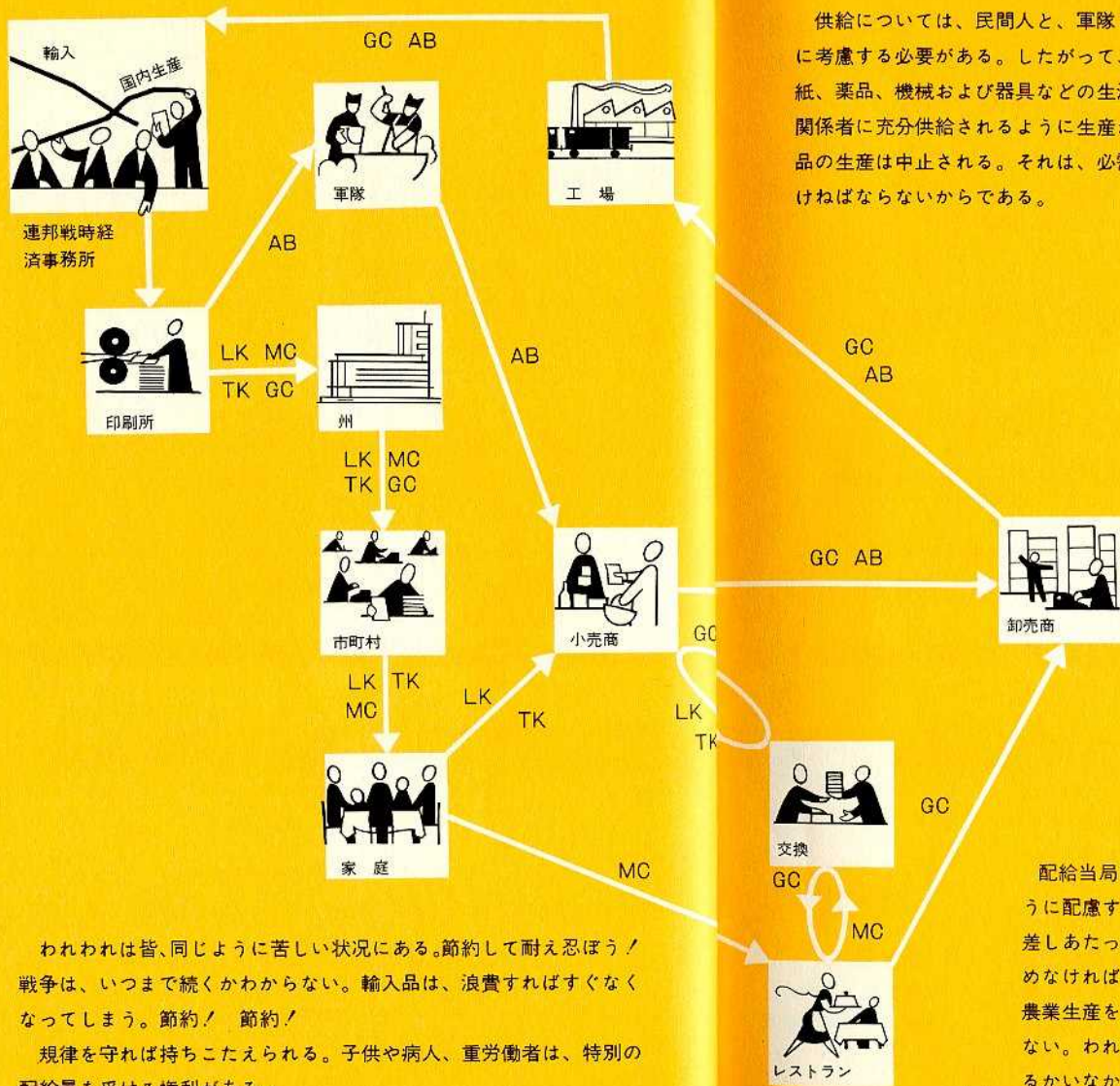
四人のうち三人の場合は、外国勢力に対する軍事機密の漏洩という重大な犯罪であり、残りの一人の場合は、重要な軍事施設に対する妨害行為である。

連邦議会の決定は、スパイおよび妨害行為の抑圧をわれわれがいかに重要視しているかを示している。裏切者は容赦なく銃口の前に立たされるということ、われわれは心に言い聞かせよう。

平時のスイスには死刑制度はない。

しかし、戦時にはスイスの存立自体が問題となるのであるから、最も峻厳な処置がとられることは、やむを得ない。

わが国の中立を守るために部分的動員令が発せられたら、直ちに、連邦内閣の決定によって、軍事刑法については戦時法規が適用され、スパイや妨害行為によって国の安全を害し、兵士や民間人の生命を危うくする者は、すべて死刑に処せられる。



供給については、民間人と、軍隊と、民間防災組織について、同時に考慮する必要がある。したがって、衣類、靴、食料品、化学製品、紙、薬品、機械および器具などの生活必需品は、上に記したすべての関係者に充分供給されるように生産が調整される。そして、ぜいたく品の生産は中止される。それは、必需品の生産に貴重な時間を振り向けねばならないからである。

- LK = 食料カード
- MC = 食券
- TK = 繊維品カード
- GC = 大量割当クーポン
- AB = 軍隊用

われわれは皆、同じように苦しい状況にある。節約して耐え忍ぼう！戦争は、いつまで続くかわからない。輸入品は、浪費すればすぐなくなってしまいます。節約！節約！

規律を守れば持ちこたえられる。子供や病人、重労働者は、特別の配給量を受ける権利がある。

配給当局は、われわれが健全に生活できるように配慮する。われわれの生活を単純化し、差しあたって必要性の小さいものは、あきらめなければならない。われわれは、わが国の農業生産を増大させるために努力せねばならない。われわれの運命はそのことが達成できるかいなかに、かかっているのである。

事態の進展 国民はかく頑張っている

戦争はわれわれの周囲で一年以上も続いている。わが国境の周囲には危険がみちみちている。その危険から逃がれるためにわれわれは全力を尽くしているのである。わが国の経済情勢は逼迫している。一方では輸入がほとんど停止されており、他方、数十万という動員によって、国民生産には重圧がかかっている。しかし、国民は、食料も、寒さを防ぐ手段も持っている。

国民は頑張っている。

郵便は一日に一便しか来なくなった。小売店は家庭配達をしなくなった。しかし、不平を言う者は一人もいない。招待はほとんど行われなくなり、食事も質素なものになったが、健康状態は悪くない。

国民は頑張っている。

電気を節約せねばならない。石炭のストックは急速に減っている。灯油タンクの見盛りは恐るべき低下を示している。部屋を暖めるストーブの薪は、くすぶっている。この冬はベッドも冷えて、寒い。

国民は頑張っている。

医者の話では、国民の健康状態は戦争前よりよくなっているとのことである。心筋梗塞が前よりも減っているのである。

結構なことだ！

鉄道輸送が窮屈になり、原材料の輸入は日一日と減っていくので、産業界の不安は強く、生産は絶対的必要品のみ制限されている。

兵役免除も休暇も、次第に少なくなってきたが、兵役解除計画

は、経済的必要性を最大限に考慮した上で実施されている。これこそ当然の姿である。

国民は頑張っている。

わが国の農村は、よくやっている。人手不足による困難にもかかわらず、平時よりも多く生産している。これは、試練に直面して、わが国のとってきた農業政策が、いかに先見の明のあるものであったかが証明されて、今日、その成果をあげているのである。われわれの払った犠牲は充分に償われている。耕地は増大しており、豪華な庭園も、公園も、運動場も、今は小麦や菜種、じゃがいもなどを生産している。児童生徒は、余暇に農業の手助けをしている。

国民は頑張っている。

社会の上から下まで連帯感で結ばれている。兵役を免除された農民は、隣人を助け、馬を貸し、動員された者に代って乳を搾っている。

軍隊も民間の仕事に手を貸し、乾し草をつくり、穀物や葡萄の収穫、種まきなどに協力している。

国民は頑張っている。

あらゆる分野で困難は倍加しているが、国民の連帯感を支える美しい情熱によって、国は頑張り続けることができる。頑張るということは、いつも朗らかであり続け、自分の周囲に信頼を与え、お互いに助け合い、隣人と試練を共にすることでもある。

試練の時ほど、同胞愛の価値が証明される時はない。わが国民が団結している限り、われわれは、何者もわれわれに打ち勝つことができないくらい強力である。

国民は頑張っている。

ヘスベリア軍は今朝、タビル市の「緑」政府に抵抗するパダニ国を救援するために降下した。

タラスク国元首は、サメ海上で大規模な原爆実験を行なう旨を発表した。これによりパダニ国および隣接国に強い放射性物質が降下することは避けがたいことになろう。

ポラリス通信の報道：

パダニ国各都市にビラが散布され、「政府を転覆させ、ヘスベリア軍の活動を妨害せよ、そうすれば、原爆実験は中止されよう」と市民に呼びかけた。

最初のニュース

今晚、タラスク国による強力な原子爆弾がサメ海上で爆発した。この海域は交戦国の領土と直接の関係がないので、何らの抗議も行なわれなかった。

国際機構は爆発を中止させるために介入したが、効果はなかった。

この「実験」の目的は、明らかに脅迫であり某大国の勢力の下に喜んでみずからを投じてこない国々に恐れを抱かせるためである。

ところが、その大国は、実際には人民を抑圧しながら、口では自由を擁護していると称しているのである。

この種の心理作戦についてわれわれ国民の注意を喚起することは、無益ではない。

彼らは言う。——“われわれの味方になれ。さもなければ、お前たちを破滅させるぞ。われわれにはその手段がある。”——

われわれは、おびえてはならない。

国民に告げる！



警報部隊は、刻々推移する事態を国民に発表する：今朝、サメ海上で強力な原子爆弾が爆発した。放射性物質は、14時過ぎにわが国に到達するだろう。しかし、今のところ、われわれは何ら危険にさらされていない。

水と食物を十分に貯えよ。

避難所用としてきめられている物資が、ちゃんとそろえてあるかどうかを調べよ。

次の指令に注意せよ。

国民に告げる！



警報機関の発表：

放射性物質の強さは警戒すべき程度になっている。やむを得ない場合以外は戸外に出るはいけな。もし戸外に出なければならぬときは、防毒マスクをつけ、手を覆うべきである。

次の指令に注意せよ。

広報車による警告：警戒！警戒！地域防災長を命令する。サメ海上における原子爆弾の爆発によって、わが国では時々刻々放射能が増加している。

テレビやラジオの放送に注意し、警報部隊の指令を厳格に守れ。各自は冷静を保つように！以上。

国民に告げる！



放射能に警戒！放射能に警戒！

放射能に警戒！

原子爆弾爆発の影響がわが国土に現われている。国民は避難所に入り、新しい指令があるまでそこにとどまるように！

警報下の町：

こうして、町は一種の死の静けさの中に沈んでいく。町は、まるで空っぽになったようだ。すべての戸は閉じられ、日よけは下げられ、商店はその窓をおろす。ときどき軍や民間防災関係の車が道を通るだけである。

住民は、避難所の中に隠れている。「こんなものは無用だ。何事も起こらないだろう」と言っていた人たちも、急いでかけ込んできた。彼らが間違っていたことを示す事態が今生じているのだ。

避難所内の生活は少しづつ組織化されてくる。婦人や子供の多くがこわがっているのは当然だが、少しづつ平静を取り戻すだろう。各人はラジオによって外部と接触を保っている。ラジオがこれほど高く評価され、ありがたく思われたことは、今までにないだろう。ラジオは、住民に対して、落ちつきを保たせ、事態の重要性を認識させる。

悪い日々もやがて終わる。

国民に告げる！



警報部隊の指令：

放射能が増加している。避難所の中は危険ではない。

次の指令を待て。

警報部隊の指令：

放射能は減り始めたが、その強度はまだ危険だ。緊急の必要がある場合、大人は防毒マスクをつけて15分間だけ避難所から出てもよい。

次の指令を待て。

警報部隊の指令：

放射能は著しく弱まってきた。国民は避難所を出て自宅へ戻ってよろしい。しかし、今から8時までは、やむを得ない場合のほかは家から出てはいけない。戸外へ出るときは、ガスマスクをつけるなど、みずからの身を守る措置をとれ。

国民に告げる！



国民に告げる！



新聞の抜萃：

最初の試練

このような、住民保護のためにとられた措置によって、おれおれは、最初の試練を乗り切り、低減から守られたが、この試練は、また、避難の体制が十分に整っているか—な所では、すべて大きな被害を受けたことをも明らかにした。避難所が不足していた所、あるいは、その設備が不十分だった所では、住民が放射能によってこうむった損害は相当重大の様相である。

かなりの量の食料品は、もはや食用に供するおけにいかない。収穫前の穀物は精密に検査する必要がある。牛乳の補給は行なわれない。備蓄品に頼って生存しなければならぬ。つまり水は飲めない。

交通は少しづつ再開されている。軍隊は重大な被害をこうむっていない。攻撃を受ける危険は全くなかった。軍隊は、塹壕やトンネル、地下室、洞穴などに避難していることができた。

die Soweit jetzt schon zu erkennen ist, hat die Schweiz die unerwartete Belastungsprobe ihrer Zivilschutzorganisationen gut bestanden. Immerhin gab es noch gewisse Volksteile, deren Schutzmaßnahmen ungenügend waren. Es sind bereits Meldungen über Strahlenschädigungen eingegangen. Infolge unzureichender Lagerung wurden leider auch gewisse Mengen von Lebensmitteln unbrauchbar. Wieweit die bevorstehende Ernte in Mitteleuropa gezogen wurde, werden die sich im Gange befindenden Untersuchungen zeigen. Trotz der Abgabesperre für Frischmilch ist dank der getroffenen Maßnahmen wenigstens für die Kinder die Versorgung mit Milch und Milchprodukten in ausreichendem Maße sichergestellt. Die Erwachsenen sind weiterhin auf ihre Vorräte an Kondens- und Trockenmilch angewiesen. Stehendes Wasser in Weihern und Seen ist noch gefährlich. Der öffentliche Verkehr konnte gestern zum größten Teil wieder aufgenommen werden.

Aus der Armee sind keine namhaften Schädigungen gemeldet worden. Da während der Verstrahlung keine unmittelbare Angriffsgefahr bestand, konnten die Sicherungsaufgaben kleineren, vor allem gepanzerten Verbänden übergeben werden, während das Gros der Truppen in Unterständen, Kellern, Festungen, Tunnels und Kraftwerkstollen Schutz fand.

Luftangriff

Aba, 23. April. In Nigeria wurden das erste Mal die Angriffe, den die nigerianische Luftwaffe am Montag auf die Biafranische Stadt Aba ausführte. Man befürchtet, daß noch weitere Todesopfer gemeldet werden.

wird, wurde tontor Schonur

der venez

Caracas, 24. April. Die venezolanische Regierung, nach dem Austritt aus der Koalition aus, begann sofort die Führer der Opposition zu verhaften. Die Regierung, nach der offiziellen Aktion zurück, Wablallianzen der Union Präsidentschaft

des kan

Wa

Ottawa, 25. April. Die dänische Premierministerin, Dienstag nachmittags bekanntes bekanntes bekanntes

Ottawa, 25. April. Die dänische Premierministerin, Dienstag nachmittags bekanntes bekanntes bekanntes

国境で起きた事態

国境における警戒事態宣言。国境警備所の情報日誌から、その一部分をピックアップしてみると：

- 23時45分 1283地点（シュタインハウスの北部）で、25人の民間人が、6台の車でわが領土内に入った。
- 0時8分 監視者Pの報告によれば、国境外のあまり遠くない地点に空襲あり。3420地点に赤色の大きな閃光が見えた。
- 0時32分 2541人の難民が、X峠を経てわれわれの領土に入ることを許可された。
- 1時10分 外国機がわが国境上空を飛行中。わが機と対空火器が射撃。
- 1時25分 西湖地域において、疲れはてた85人のバダニ国兵が救助を求めた。われわれは彼らを武装解除した。
- 1時40分 1283地点（シュタインハウスの北部）で、バダニ国領内において激しい銃撃が行なわれた。緑シャツ党員は、逃亡しようとする民間人を追う。
- 2時15分 民間人避難者の中に5人のコレラ患者がいたとの報告あり。
- 2時22分 監視者Pの報告によれば、南西の方向に自動火器の発射音を聞いた。

3日後の新聞抜萃：武装解除された兵士2万5000人と、民間人4万人が、本日わが領土に收容された。

われわれは、これらの数字の裏にある各個人の苦悩を、ほんとうに想像できるだろうか。どのような恐ろしいドラマが、これらの不幸な人たちを逃亡に追いやったのだろうか。戦争は最も忌むしい災害である。戦争は、死の種をまき、火の流れの中にすべての人間の血を引きずり込む。恐怖が、追い詰められた人間の群を支配する。

恐怖が、人間から理性を奪う。

彼らは、もはや、自分を守ることしか考えていない。いかなる理由づけも、いかなる命令も、何ものも彼らを引きとめることはできない。彼らは、自分の生命を守るために、すべてを放棄する。

婦人、子供、老人、脱走兵、仕事場を去った大人たち。これらの、飢え、さまよう人たちの群を、集め、宿泊させ、食物を与え、衣服を着せ、時間をかけて丁寧に扱ってやる必要がある。この混乱に秩序をもたらす必要がある。これが地域防衛隊の仕事の一つである。

地域防衛隊は、次の命令を発する。

1. 一般国民は介入してはならない。これに介入することは、軍隊が行なっている組織的救援活動を麻痺させるだけである。
2. 市町村当局は、赤十字およびそれと類似する機関と連絡をとって、食料や衣服を入手する。

救助作業がうまく行ったら、避難民は、平時から準備されていた建物に集められ、続いて彼らは、收容所で生活するか、あるいは民間経済部門で働くことになる。

これらの人々の中には、いろいろの例があるが、その幾つかをあげると：

〔例1〕 シュテファン B.

バダニ国陸軍中尉。彼は、部下の兵27名とともに戦闘中に、スイスに入学し、武装を解除された。

ジュネーブ国際協定の規定によれば、敵から逃がれて中立国の領土に避難した兵士は、いかなる場合にも戦闘を再開してはならないことになっている。

彼らは、収容された軍人として、わが国では戦争捕虜として扱われるので、制服を着し、俸給を受け取り、また、赤十字の世話で家族と通信することができる。

彼らの属する国は、彼らを扶養するための費用を支払わなければならない。彼らは軍事的に監視される。

〔例2〕 フィリップ M.

パン屋、46歳。バダニ国軍予備役の某部隊所属。訓練中にわが国境に近い訓練場から脱走。スイスは、このような人たちを受け入れて収容する義務はない。しかし、この脱走兵は、本国では死刑に処せられるだろうから、人道的理由によってわが国では保護される。

彼は、軍人被収容者としてではなく、脱走兵として扱われる。彼は、原則的には自由にわが国内を動きまわることができるが、治安上の考慮から、一般的には収容所に集めておかれる。その収容費用はスイスの負担である。

〔例3〕 ミカエル S.

技術者、38歳。タラスク正規軍少佐。味方を捨てて敵に走った。そして、彼の国が参加している同盟の同盟国軍隊によって捕虜にされた。彼は、判決を待っている間に収容所から逃亡して、スイスに入ることができたが、本国に帰ることを拒否している。

スイスは、このような場合、何らの義務も持たない。スイスは、逃亡した戦争捕虜に対して、元の国へ帰ることを許可することもできるし、彼に亡命の権利を与えることもできる。

彼がわが国に対して破壊的活動を行なっていることを証明する情報があつたら、彼は、その選択する国境へ追い返される。

〔例4〕 エレオノラ O.

中立都市タビルの中産階級に属する男、56歳。彼にとって、彼の国の政治情勢が好ましいものでなかったため、彼は、強制収容所に入れられることを避けるため、さらには死から逃がれるため、スイスへ避難した。

このような民間避難民の場合も、スイスは、亡命の権利を与えるべき法的義務を何ら負うてはいないが、人道的理由から、スイスは、保護を要するほど迫害されている人々に対して、できるだけ広く国境を開放している。「庇護権」は単にスイスだけの伝統ではなく、政治的準則であり、それは、自由と独立に関するスイスの思想の表現である。われわれは、たとえ、それがわれわれに犠牲を求めることがあつても、生命が重大な危険にさらされているためスイスに避難を求める人たちを、わが国の安全と両立する範囲内において受け入れる。

政治的理由によって追われているエレオノラOは、スイスにとどまることを許可され、収容所に入ることを認められた。

ある記事からの抜萃：

“われわれは避難民に対して、いかに振るまうべきか。”この問題について、昨夜、カジノの会場で興味ある講演が行なわれた。

講演者は、善意が常に有益であるとは限らないこと、理性は感傷主義に打ち勝たねばならないことを、例をあげて説明した。

第一に、非常に残念なことは、ある若い女性は、収容されている者のほんとうの身分を知らないでいながら、彼らに対して多くの個人的恩恵を与えるべきだと信じていることである。悲劇は、このような軽卒さから生ずるものだ。

慈善行為は、すべて、それ自体は賞讃に値いする。しかし、われわれが置かれている現状においては、われわれが面倒を見ているすべての人々の要求を満たすことができるように、慈善行為自体がよく組織されているわけではない。われわれは、われわれが提供できるすべてのものを、食料、衣類その他の必要品を、分配を担当している人を通じて提供しよう。これが、わが国に亡命を求めてきた不幸な人々を救う最も合理的な方法である。

これらの人々の中には、善い人もいれば、そうでない人もいる。したがって、この扱い方には注意を要する。また、彼らがさらけ出す人間的不完全さ、あるがままの姿に対して、いら立ってはいけぬ。われわれは彼らを選んだのではなく、あるがままの彼らを受け入れたのだから。彼らはわれわれと同じように人間である。最善を尽くして彼らを助けよう。これがわれわれのなすべきことである。

危険が差し迫っている

新聞の抜萃：

チューリッヒ

今朝、チューリッヒ市民は、シル湖のダムが爆破されたとの報道によって、恐慌状態に襲われた。この事故は破壊活動によるものらしい。

この情報は、やがて否定されたが、地域防衛隊と警察は、あらゆる手段で数千の住民が自宅を離れないようにせねばならない。

点滅する怪しい火

毎夜、ケーリッヒベルグの高地の上で、正体不明の光の信号が見える。住民は神経を尖がらせ、軍隊は、昼も夜も、指定された地域をパトロールしている。

新しい破壊活動

わが軍事施設の中にある飛行機格納庫に、破壊工作者が侵入、2機を一時的に使用不可能にした。逮捕された彼らは、スイスの軍服を着ていた。警察は、捜査の結果、外国製の軍服30着、自動火器、手投弾を押収した。

わが国は攻撃されるか

タラスク国の偵察機一機が、隣国のわが国境から遠くない地点に着陸したらしい。入手した書類の中に詳細なスイスの地図があった由。これによって、われわれは、スイスが攻撃されようとしていると結論すべきであろうか。

警戒を倍加せよ

わが国を取り巻く情勢は、日一日と重大になっていく。戦争は長引いている。わが国境を侵犯することによって決着をつけようとしているのだろうか。

われわれの所に双方から入ってくる情報は、次第に警戒を要するものになっている。われわれは、もはや紛争から免れることは困難である。わが国内においても、悪意ある宣伝が強化されている。その源を突きとめることは、できることもあれば、できないこともある。しかし、わが新聞は、全体として、警戒を怠っておらず、その受信するニュースを注意深く選び抜き分類している。

総動員が発令されて以来、出版検閲については平時と違った規定が適用されていて、ある種の意図を持った新聞の発行した数日分は、押収された。それには疑惑を招くような記事が掲載されていたのである。わが国民に知らされるニュースは客観的なものでなければならない。

警察は、ペロミュンスター近くの農村で、一人のタラスク国スパイを逮捕し、連邦内閣と軍総司令官の声明の入った録音テープを押収した。その声明は、古い演説の録音をいろいろ組み合わせて偽造されていたのである。時機が来たら、この録音テープによって、嘘の降伏声明が電波に乗って流されたに違いない。

11月9日の昼、連邦内閣の閣僚は、軍の総司令官および参謀総長と会見した結果、わが軍の全部隊が召集されることに決定した。

戦時経済に関する措置が強化されていったが、そのとき、一部の新聞が、その仕事の責任者であった高級官僚を中傷するキャンペーンを開始した。その高級官僚は、有事の際の食料補給に関する協定を締結するため、少し前、連邦内閣によって海外に派遣されていたのである。

このキャンペーンの目的は、国民の抵抗精神を弱めるため、内閣の閣僚の結束について疑惑を生じさせることにあるようで、これは疑いもなく第五列の作戦であるが、不幸にして、幾つかの新聞の編集局長が、まんまと、これに引っかかってしまった。

全戦闘部隊の召集と関連して、連邦内閣は、国境地帯にある幾つかの町の住民を移動させることに決定した。婦女子、老人、病人、負傷者は、最初の戦闘の被害をうけない地方に移された。

これらの措置がわれわれの間に恐慌を引き起こすことのないように祈る。

彼らの生命身体に対する事故を防止するためにすべての措置を講ずることは、人命を預かっている人たちの義務である。

これらは予防措置なのだ。情勢は確かに重大で、それを否定することは誤りであろうが、だからといって、われわれにのしかかっている脅威を誇張することは、もう一つの誤りである。

第1の場合
わが中立の防衛

多国間に戦争が発生した場合、交戦国の一方が、自国の形勢を有利にするため、敵に対する作戦通路としてスイス領土を使用することがあり得る。



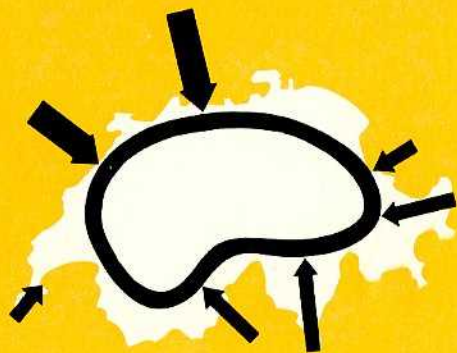
われわれは、侵略者の作戦の第一条件は「迅速」ということだということを知るべきである。だから、もし、われわれが数日持ちこたえることができたなら、敵の作戦は失敗に帰するだろう。

われわれは、決然として最初の危機を乗り切るべきである。最初の3日か4日が決定的である。

われわれは、道路、鉄道網、トンネルなどを破壊することによって、敵の侵略を持ちこたえるべきである。われわれは、わが国を、侵略者にとって通過不可能にしなければならぬ。

第2の場合
われわれの自由
と独立の防衛

敵は、わが領土を、最終的にその勢力範囲に併合しようと試みている。



敵は、この征服併合が高くつくということがわかれば、退却するに違いない。

われわれは、工場、道路、鉄道、飛行場などを破壊することによって、敵の意図を砕くことができる。

わが領土の難攻不落の地帯をできるだけ持ちこたえることが、われわれのなすべきことである。

トルニオ発：

パダニ国内は混乱の極に達した。

政府は今朝総辞職、前緑シャツ党総統・トラストロ
将軍が権力を奪取した。

M I P A 総司令部の伝えるところによれば、クリン
ゲンブルク市ほかシルバニア国の6都市が、午前4時、
通常兵器による大攻撃を受けた。タラスク国戦車隊は
空挺部隊の支援のもとに、国境の河を渡河した。

トルニオ発：

緑シャツ党員以外にタラスク国正規軍が、パダニ国
の戦場に姿を現わした。

タラスク国機械化部隊は、電撃的に、両陣營の緩衝
地帯であるスイスの国境に向けて殺到した。これによ
り、スイスの地位は極めて危機に瀕することになろう。

爆撃！

民間防災組織は活動を始める。

すべての地方を要塞とするよう準備せよ。

規律を守れ。

戦時国際法の適用を主張する。

強い抵抗の意志を持て。

宣伝のワナにかからぬよう注意せよ。

最初の衝撃に抵抗することが最も大切である。戦え！
やがては勝つ。